

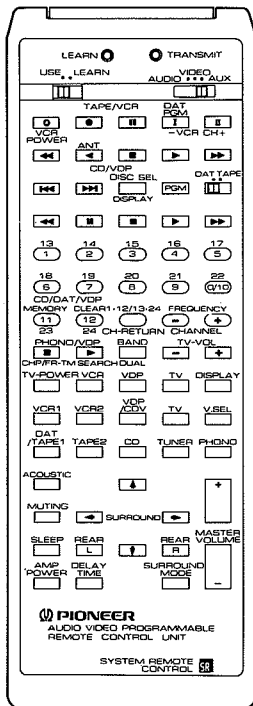
CU-AV100

オーディオビデオプログラマブルリモートコントロールユニット
AUDIO VIDEO PROGRAMMABLE REMOTE CONTROL UNIT
TELECOMMANDE AUDIOVISUELLE PROGRAMMABLE

日本語

ENGLISH

FRANÇAIS



取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi



このたびパイオニアの製品をお買い求めいただき、ありがとうございます。この製品の保証期間はお買い上げ後1年間です。普通の使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。お買い上げの販売店または弊社サービスステーションにこの製品とお買い上げの領収書を必ずご持参ください。保証期間中および経過後のアフターサービスについてはお買い求めの販売店または弊社サービスステーションにお問い合わせください。なお、お買い上げ日の確認のために、必ず販売店の領収書(またはレシート)を保存してください。当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保存しています。

目次

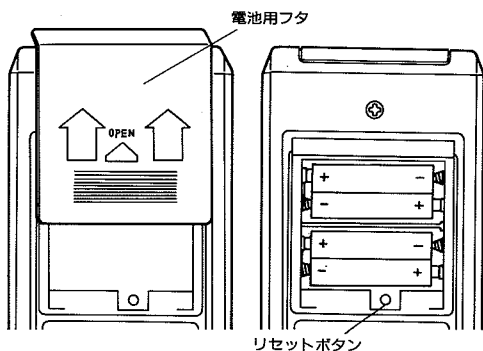
リモコン操作	2
各部の名称と動き	3
学習機能の使いかた	9
仕様	11

- お手持の機器の持っていない機能やリモコン対応していない機能は、このリモコンに操作キーがあっても動作させることはできません。
- お手持のリモコンの機能で利用したいものがあるときは、学習機能を利用することによって、簡単にこのリモコンでも利用できるようにすることができます。

リモコン操作

■リモコンに電池を入れる

1. リモコンの裏側の電池ケースのふたを開けます。ふたを押しながら矢印方向に引くと開きます。
2. 付属の単4アルカリ乾電池(LR03/AM-4)4本を取出し、電池ケースの表示にしたがって電池ケースに入れます。
3. 電池ケースのふたを閉めます。

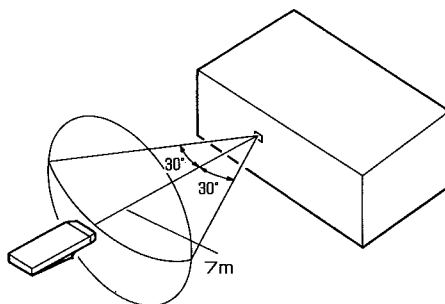


■乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂するなどの危険があります。次の点について特にご注意ください。

1. 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通り正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 電池には充電式と充電式でないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
5. 使用済の乾電池は燃えないゴミとして捨ててください。

■リモコンの操作可能範囲

リモコンの操作可能範囲は操作機器との距離が約7m、受光部との角度が約30度までです。



■電池交換について

トランスミッター
Transmit インジケータがキーを押しても点灯しなくなった場合は電池が消耗したため動作しなくなっていますので早めに電池交換を行ってください。学習させたキーは電池が入っていれば記憶していますので、新しい電池が用意できてから現在の電池をはずし入れ換えてください。また、電池はかならず指定の電池(単4アルカリ電池 LR03/AM-4)をお使いください。

注意：
電池をはずしても30~60分は学習させた内容は記憶してま
す。

各部の名称と動き

■送信モード切換えスイッチの役割

次のようなときに、切換えます。

AUDIO :

オーディオ機器を操作するとき、この位置にします。たとえば、CDプレーヤー、テープデッキ、DAT、プレーヤー、チューナーの操作ができます。

VIDEO :

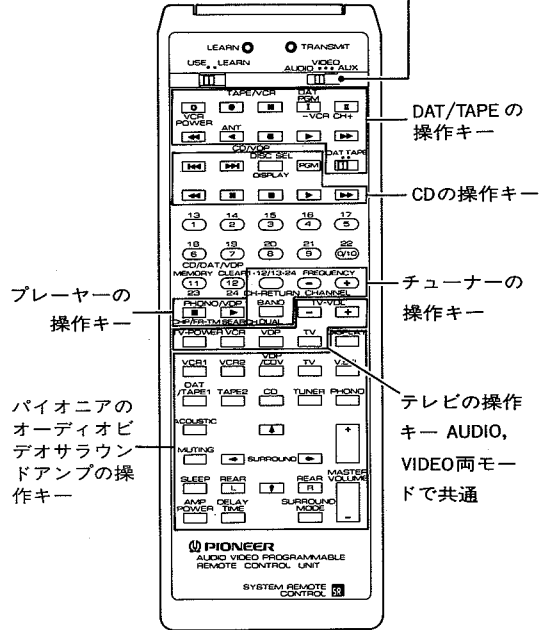
ビデオ機器を操作するとき、この位置にします。たとえば、レーザービジョンプレーヤー、VCR、テレビの操作ができます。

AUX :

学習機能により、それぞれのキーに他のリモコンを学習させて使うためのポジションです。アンプの操作キー以外は何もメモリーされていませんので、2台目のVCR、テープデッキ、VDPなどの操作をメモリーさせて使用することができます。

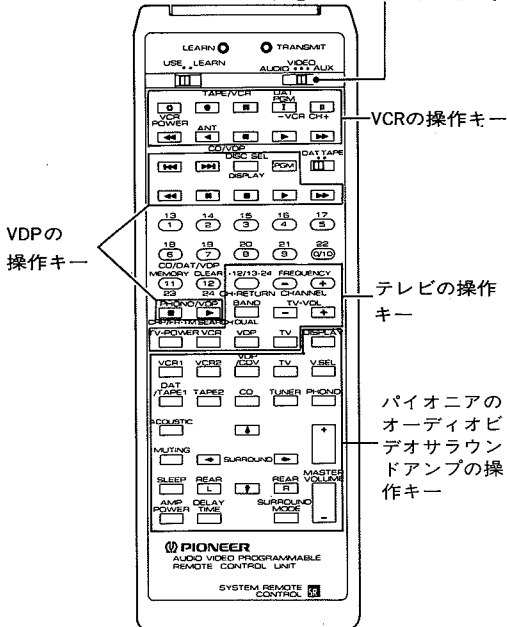
- 1~12の数値キーは、Audio、Videoの両モードで、DAT、CD、VDP、Tuner、TVの操作キーとなります。
- アンプの操作キーは全てのモードで共通に使用できます。
- TV操作キーの内TV POWER（電源）VCR、VDP、TVの入力切換、音量のUP、DOWNはAudio、Videoの両モードで共通に使うことができます。
- AUXモードでは、サラウンドアンプの操作キー以外は何も送信しません。お手持のリモコンを憶えさせてお使いください。

AUDIOモード 送信モード切換えスイッチをAUDIOにセットする。

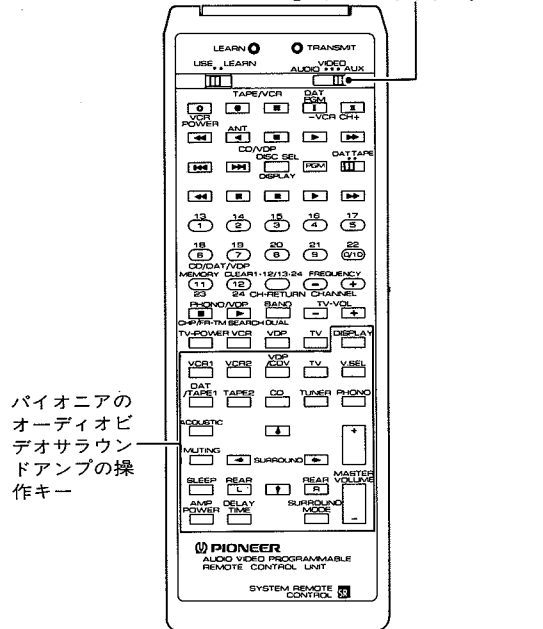


日本語

VIDEOモード 送信モード切換えスイッチをVIDEOにセットする。

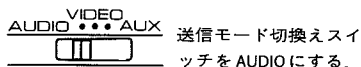


AUXモード 送信モード切換えスイッチをAUXにセットする。



各部の名称と働き

■TAPEの操作法



送信モード切換えスイッチをAUDIOにする。

テープ機能キー（カセットテープデッキまたはDATの操作）

DAT/TAPE 切換スイッチ

DAT

DAT（デジタル・オーディオ・テープ）デッキの操作をするとき、この位置にします。

TAPE

カセットテープデッキの操作をするときは、この位置にします。

● [] 内の説明は、DAT専用です。

● (REC MUTE) キー：
無録音部を作ります。

● (REC) キー：
録音モードにします。

■ (PAUSE) キー：
テープ走行を一時停止します。再び走行するときは、もう一度押します。

I (DECK I) キー：
ダブルカセットテープデッキの場合は、デッキIの機能に切り替わります。

[DAT PGM] キー：
DATデッキでプログラムを行うときに押します。

II (DECK II) キー：
ダブルカセットテープデッキの場合は、デッキIIの機能に切り替わります。

◀◀ (FF) キー：
矢印の方向へテープを早送りします。

◀ (PLAY) キー：
リバース再生をします。

■ (STOP) キー：
テープ走行を停止します。

▶ (PLAY) キー：
フォワード再生をします。

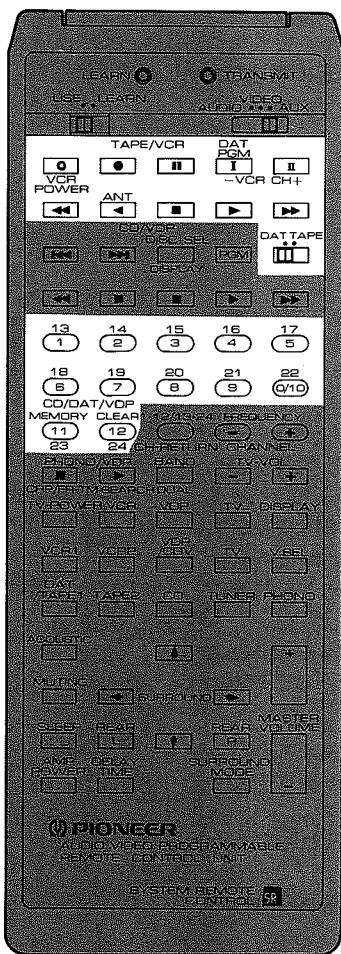
▶▶ (FF) キー：
矢印の方向へテープを早送りします。

[1~0/10 (DIGIT) キー]：
曲番号の指定をします。

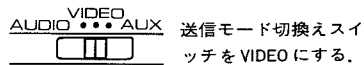
[MEMORY] キー：
プログラムをメモリーします。

[CLEAR] キー：
メモリーしたプログラムを解除します。

以下は、初めの状態の機能を説明します。これらの機能は、パイオニアの統一システムリモコン（マーク付き）対応の製品を操作できます。



■VCRの操作法



送信モード切換えスイッチをVIDEOにする。

VCR機能キー（VCRの操作）

VCR POWER キー：
VCRの電源をON/OFFします。

● (REC) キー：
録画モードにします。

■ (PAUSE/STILL) キー：
一時停止や静止画にします。

VCR CH+ (UP) キー：
チャンネルが順に変わります。

VCR CH- (DOWN) キー：
+とは逆の方へチャンネルが順に変わります。

◀◀ (REW) キー：
テープを巻き戻します。また、ピクチャーサーチをします。

ANT キー：
ご使用のVCRにANT切換え機能があるものに働きます。
アンテナの接続をビデオからテレビに切換えます。

■ (STOP) キー：
テープ走行を停止します。

▶ (PLAY) キー：
再生をします。

▶▶ (FF) キー：
テープを早送りします。また、ピクチャーサーチをします。

■DAT

注意：

プログラムを入力する手順が一部分DATに付属するリモコンでの操作と異なります。

■DAT付属のリモコンを用いての操作

1: ~ キー → 2: キー → 3: 1.2の手順のくり返し → 4: キー

■学習リモコンを用いての操作

1: キー → 2: ~ キー → 3: キー → 4: 2と3の手順のくり返し → 5: キー

■DAT付属のリモコンでの一発選曲操作

1: ~ キー → 2: キー

■学習リモコンでの一発選曲操作

1: キー → 2: ~ キー → 3: キー

以上のように付属のリモコンとくらべ、数値キーを押す前にDAT操作キー部の キーを押す手順が必要になります。

■CDの操作法

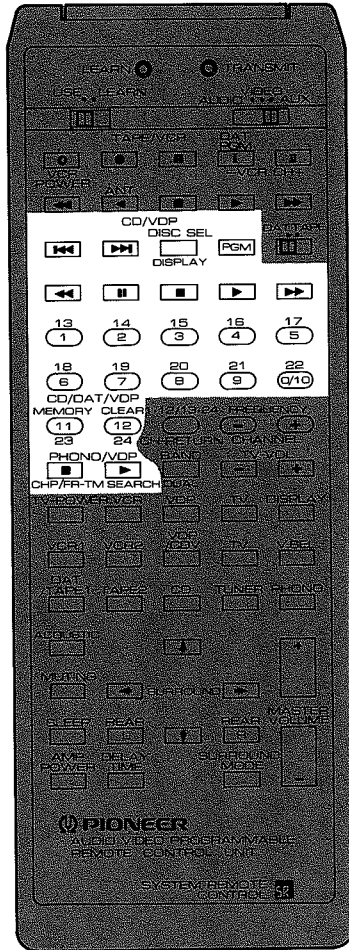
AUDIO VIDEO AUX 送信モード切換えスイッチをAUDIOにする。

CD機能キー

(CDプレーヤーの操作)

- ◀◀ (TRACK SEARCH) キー：
再生中のトラックの最初へ戻ります。
- ▶▶ (TRACK SEARCH) キー：
次のトラックへ進みます。
- DISC SEL (DISC SELECTOR) キー：
マガジンタイプのCDプレーヤーのディスクナンバー (1~6) を選択します。
- PGM キー：
CDプレーヤーでプログラムをするときに押します。
- ◀◀ (MANUAL SEARCH) キー：
早戻しをします。
- (PAUSE) キー：
一時停止をします。
- (STOP) キー：
再生を停止します。
- ▶ (PLAY) キー：
再生をします。
- ▶▶ (MANUAL SEARCH) キー：
早送りをします。
- [1~0/10 (DIGIT) キー]：
一発選曲やプログラム入力するときに使います。
- MEMORY キー：
プログラムをメモリーします。
- CLEAR キー：
メモリーしたプログラムを解除します。

以下は、初めの状態の機能を説明します。これらの機能は、パイオニアの統一システムリモコン (㊦ マーク付き) 対応の製品を操作できます。



日本語

■CD

注意：

プログラムを入力する手順、一発選曲の手順が一部分CDプレーヤーに付属するリモコンでの操作と異なります。

■CDプレーヤー付属のリモコンでのプログラム再生操作

(1: ディスクNo. [1]~[6]キー) → 2: トラックNo. [1]~[6]キー → 3: [MEMORY] キー → 4: 1~3のくり返し → 5: [PLAY] キー

■学習リモコンでのプログラム再生操作

1: [PGM] キー → (2: [DISC SEL] キー) → 3: [0/10] ~ [9] キー → 4: [MEMORY] キー → 5: 2~4の手順のくり返し → 6: [▶] キー

■CDプレーヤー付属のリモコンでの一発選曲操作

(1: ディスクNo. [1]~[6]キー) → 2: トラックNo. [1]~[6]キー → 3: [▶] キー

■学習リモコンでの一発選曲操作

(1: [DISC SEL] キー) → 2: [PGM] キー → 3: [0/10] ~ [9] キー → 4: [▶] キー

以上のように付属のリモコンとくらべ、数値キーを押す前にCD操作キー部の[PGM]キーを押す手順が必要になります。

各部の名称と働き

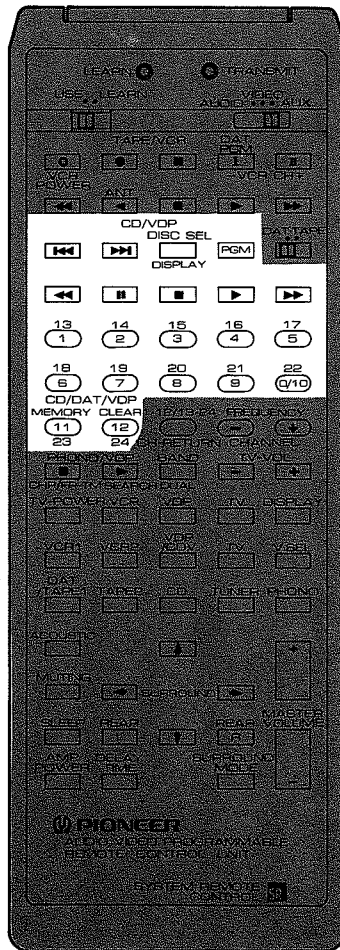
■VDPの操作法

VIDEO
AUDIO ●●●● AUX 送信モード切換えスイッチをVIDEOにする。

ビデオディスク機能キー (レーザービジョン プレーヤーの操作)

- ◀◀ (CHAPTER SKIP) キー：
再生中のチャプターの最初へ戻ります。
- ▶▶ (CHAPTER SKIP) キー：
次のチャプターへ進みます。
- DISPLAY (DISPLAY CALL) キー：
画面へのチャプターやフレームまたは
タイムの表示・消去をします。
- PGM (PROGRAM) キー：
チャプタープログラムプレイ、フレーム
サーチおよびタイムサーチに使用します。
- ◀◀ (SCAN) キー：
早戻しをします。
- (PAUSE) キー：
映像と音声が消え、再生を一時停止し
ます。
- (EJECT) キー：
初めに押すと、再生を停止します。も
う一度押すと、ディスクテーブルが所
定の位置まで出ます。

以下は、初めの状態の機能を説明します。これらの機能は、パイオニアの
統一システムリモコン (59 マーク付き) 対応の製品を操作できます。



- ▶ (PLAY) キー：
再生をします。
- ▶▶ (SCAN) キー：
早送りをします。
- 1~0/10 (DIGIT) キー：
チャプターやフレームまたはタイムの
ナンバーサーチやチャプタープログラ
ムをするときに使います。
- MEMORY キー：
チャプタープログラムプレイをする
ときに使います。
- CLEAR キー：
リピート再生の解除、サーチ操作時の
ナンバー訂正やモード解除、チャプ
タープログラムの解除などに使います。
- CHP/FR-TM (CHAPTER/FRAME-TIME) キー：
チャプターまたはフレーム(タイム)の
サーチ操作に使います。
- SEARCH キー：
サーチ操作、メモリーリピート操作に
使います。

■チューナーとプレーヤーの操作法

以下は、初めの状態の機能を説明します。これらの機能は、パイオニアの統一システムリモコン（SRマーク付き）対応の製品を操作できます。

VIDEO AUDIO ●●● AUX 送信モード切換えスイッチをAUDIOにする。

チューナー機能キー (FM/AMチューナーの操作)

1~12 (ステーションコール) キー:
ステーションコールスイッチにメモリーした放送をダイレクトに受信します。

1・12/13・24 (モードセクター) キー:

モード1 (1~12) とモード2 (13~24) を切換えます。

FREQUENCY+ (UP):

周波数の高い方へ変わります。

FREQUENCY- (DOWN):

周波数の低い方へ変わります。

BAND:

FMとAMのバンドを交互に切換えます。

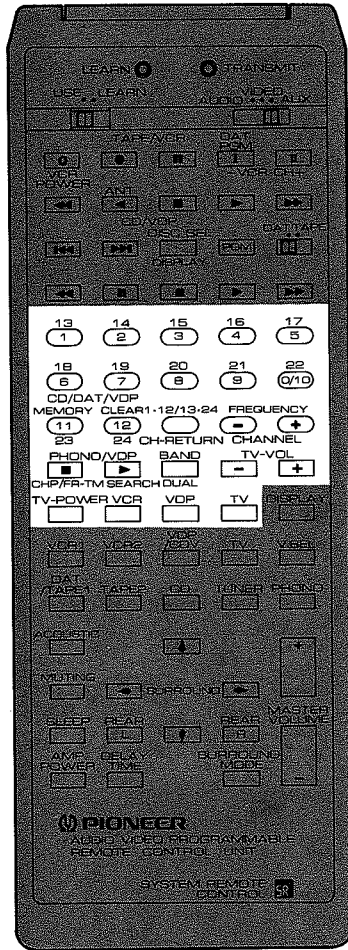
プレーヤー機能キー (レコードプレーヤーの操作)

▶ (PLAY) キー:

再生をします。

■ (STOP) キー:

再生を停止します。



■テレビの操作法

VIDEO AUDIO ●●● AUX 送信モード切換えスイッチをVIDEOにする。

テレビ機能キー (コンポジットディスプレイやプロジェクションモニター)の操作

1~12 (CHANNEL CALL DIGIT) キー:
チャンネルを呼び出します。

CH-RETURN キー:

チャンネルを変えたとき、1つ前に受信していたチャンネルへ戻ります。

CHANNEL+ (UP) キー:

チャンネルが順に変わります。

CHANNEL- (DOWN) キー:

+キーと逆の順にチャンネルが変わります。

DUAL (MPX) キー:

MAIN, SUB, MAIN/SUB を交互に切換えます。

詳しくはテレビの取扱説明書を参照してください。

*TV-VOL+, -キー:

音量の増、減をします。

*TV-POWER キー:

TVの電源をON/OFFします。

*VCR, VDP, TV キー:

それぞれの入力に切換えます。

[参考] *マークのキーは、AUDIOの位置でもVIDEOの位置でも同一の働きをします。

各部の名称と働き

■アンプの操作法

送信モード切換えスイッチに関係なく操作できます。

アンプ機能キー：

INPUT SELECTOR キー：

VCR1, VCR2, VDP/CDV, TV, CD, TUNER, PHONOを押してアンプの入力を切換え視聴するソースを選びます。

V-SEL (VIDEO SIGNAL SELECTOR) キー：

V-SEL キーを押してビデオシグナルのみを切換えます。このときオーディオシグナルは切換らずINPUT SELECTORで選んだままとなります。

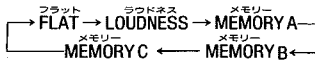
TAPE MONITOR キー

DAT/TAPE1, TAPE2を押してソースとモニターの切換えを行います。

ACOUSTIC (ACOUSTIC MEMORY SELECT) キー：

キーを押すごとに、以下のように音質のセッティングが切換わります。

(例)



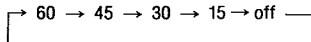
MUTING キー：

音量を一時的に消すときに使います。もう一度押すと元の音量に戻ります。

SLEEP タイマーキー：

スリープタイマーが働きます。押すごとに次のように変わります。

(例)

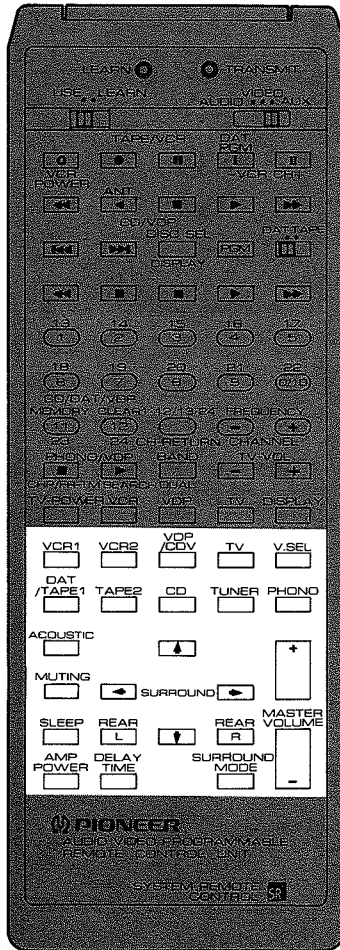


単位：分

AMP POWER キー：

アンプの電源のon/offをします。

以下は、初めの状態の機能を説明します。これらの機能は、パイオニアの統一システムリモコン (図マーク付き) 対応の製品を操作できます。



REAR L, R キー：

サラウンドスピーカーだけの左右の音の大きさを調整します。

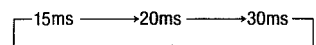
L側… 右側の音が大きいときに押します。

R側… 左側の音が大きいときに押します。

DELAY TIME キー：

押すごとに、サラウンド時の残響時間の切換えをします。

(例)



SURROUND キー (→, ←, ↑, ↓)：

これらの4つのキーで、サラウンドエリアをお好みの状態にすることができます。

左右のキーは、左と右の音量バランスを調整します。また、上下のキーは、フロントとサラウンドの音量バランスを調整します。

SURROUND MODE キー：

押すごとに、サラウンドモードが次のように変わります。

(例)



MASTER VOLUME キー：

音量を調整します。

学習機能の使いかた

■初めに：

プログラムリモコンは、学習機能を持ったリモコンです。パイオニアのリモコン対応のオーディオ機器やビデオ機器を動作させるだけでなく、他社のAV機器のリモコン対応機器も、リモコン信号を学習し、記憶することで操作できます。1つのリモコンで集中操作ができ、たいへん便利に使えます。学習・記憶できるリモコンは赤外線方式のみです。最近のワイヤレスリモコンは、ほとんどが赤外線方式を使用していますので、学習させて、動作させることができます。プログラムリモコンは他のリモコン信号を記憶できます。

だからといって他のリモコンは捨てないでください。

注意：

プログラムをするときに、機器が動作しないようにしてください。電源が入ったり、大切なテープを消したり、急に大きな音が出たりします。動作しないようにするには、機器の主電源を「切」にする（または電源コードをACコンセントから抜く）、あるいは、リモコン受光部におおいをかぶせるのも一つの方法です。機器のある場所では、リモコン信号（赤外線）が壁や天井などに反射して動作してしまうことがありますので、ご注意ください。

■学習できるキーについて

送信モード切換えスイッチがAUDIOの位置及びVIDEOの位置では、サラウンドアンプ機能キー以外は学習機能が働きます。AUXの位置では、すべてのキーに学習機能が働きます。一度学習した後、次にまた学習することができます（変更ができます）。

AUDIOの位置及びVIDEOの位置には、最初はパイオニアの統一リモコンコードがメモリーされています。パイオニアの製品であれば、そのまま使用することができます。最初にメモリーされているよりもっと多くの操作がしたいときは、学習機能を利用してください。また、一度学習してしまった後に、パイオニアの統一リモコンコードへ戻すこともできます。（戻しかたについては、「初期状態への戻しかた」を参照してください。）

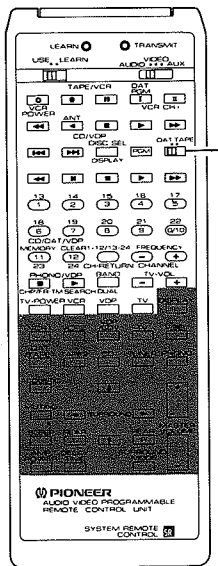
- それぞれのモードで1つずつのキーにそれぞれ1つずつ合計154までの範囲で憶えることができます。

*学習操作を行う際は、相手のリモコンと本機の電池を共に新しい電池に入れ換えて行ってください。

- 赤外線リモコンであっても特殊な方式のものは学習できない場合があります。

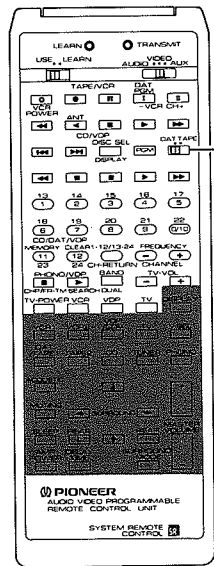
日本語

AUDIOモード



TAPE操作キーはAUDIOではDAT/TAPEのいずれかの側に憶えることができます。他の側はパイオニアの統一リモコンのままとなります。（43キー学習できます）

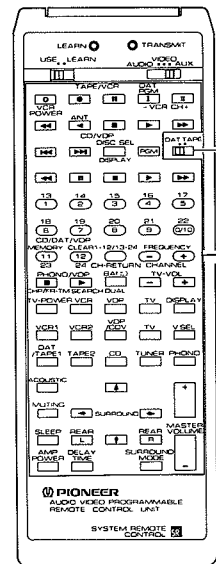
VIDEOモード



VIDEOモードのときDAT/TAPEスイッチは働きません。（43キー学習できます）

「キーの名称とちがった状態を学習させたときは、付属のテンプレートに学習させた機能の名称または記号を鉛筆で書き込んで、パネルの上に置いて使うと便利です。」

AUXモード

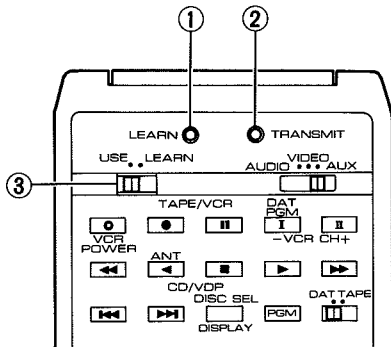


全てのキーに憶えさせることができます。（68キー学習できます）AUXモードのときDAT/TAPEスイッチは働きません。

学習機能の使いかた

お手持ちのVCRを操作しているリモコンを利用して、再生の命令(信号)をプログラムします。

[キーの名称と機能を対応させることをお勧めします。使用するとき便利です。]



① 学習インジケータ (LEARN)

このインジケータは、学習機能を働かせるときに、操作がスムーズに行えるように点灯・消灯と点滅を行います。

点灯:
学習ができる状態になります。

消灯:
一般のリモコン操作を行えます。

点滅:
学習できないキーに学習させようとしたとき点滅します。

② 送信インジケータ (TRANSMIT)

リモコン信号を送り出しているときに点滅します。

③ LEARN 切換スイッチ

次のようなときに切換えます。

LEARN:
お手持ちのリモコンの信号を学習して、メモリーするとき、この位置にします。

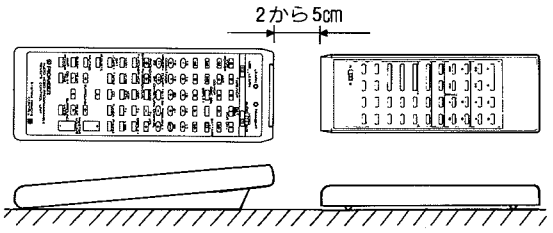
USE:
LEARNの位置でメモリーが完了したとき、この位置にします。(通常使用するときはこの位置にします)

(操作例)

1. プログラム・リモコンの LEARN スイッチを LEARN の位置にし、送信モードセレクトスイッチを VIDEO の位置にする。

■送信モードセレクトスイッチは、どの位置でもプログラムできますが、例として VIDEO の位置にしています。

2. プログラム・リモコンと VCR のリモコンの送信部を向い合わせる。



■2~5cm離してください。近づけすぎてもメモリーできません。このとき両方のリモコンを机やテーブルの上において学習させてください。

3. プログラム・リモコンの VCR 再生キーを(▶)を LEARN インジケータが点灯するまで押し、点灯したら離す。

4. お手持ちの VCR のリモコンの再生キーを押しつづける。

5. プログラム・リモコンの LEARN インジケータが消灯したことを確認したら、VCR のリモコンのキーを押すのをやめる。

注意:

LEARN インジケータが点滅するときは、学習できないキーに学習させようとしたときか、記憶容量がオーバーしたときです。記憶容量がオーバーしたときは、最後に学習させようとしたキーは正しく記憶していません。最後に学習させようとしたキー以前に学習させたキーは正常に記憶していますから、最後のキーが使えなくてさしつかえなければそのまま学習させることをやめてお使いください。最後に学習させようとしたリモコン命令以外は全てそのまま使うことができます。再度学習させなおす場合は、11ページの初期状態へのもどし方をご覧ください。

6. プログラム・リモコンの LEARN 切換スイッチを USE の位置にする。

■以前のコード(パイオニアの統一リモコンコードや他機器のコード)は消え、新しいコードになります。

7. プログラムができたことを確認する。

■実際に操作を行い、動作するかどうか確認してください。
■操作して機器が動作しないときは、リモコン間の距離・角度・位置をかえて動作しないキーをもう一度はじめてから、プログラムをやり直してください。

■プログラムするときは、他のリモコンとプログラム・リモコンの機能表示(たとえば▶、▶▶、■など)が一致するようにしてください。一致させた方が使いやすくなります。

■学習機能の疑問(Q)と答え(A)

Q：持っているVCRのリモコンのREC(録音)キーが2つあり、このキーを2つ同時に押さないと録画が始まらない場合の学習のしかたは？

A：プログラム・リモコンの1つのキー(たとえば、VCR ●キー)を押してLEARNインジケータを点灯させ、VCRのキーを2つ同時に押してプログラムしてください。

Q：持っているVCRのリモコンでは、REC(録音)キーとPLAY(再生)キーがあり、両方のキーを押さないと録画が始まらない場合の学習のしかたは？

A：プログラム・リモコンの1つのキー(たとえばVCR ●キー)を押してLEARNインジケータを点灯させ、RECとPLAYキーを同時に押してプログラムしてください。

■以上のように、お手持ちのリモコンが、2つのキーを同時に押して操作ができるものは、2つのキーを同時に押してプログラムしてください。

■プログラム・リモコンで他の機器を操作する。

1.プログラム・リモコンのLEARNスイッチをUSEの位置にする。

2.送信モードセレクタースイッチを希望する位置(AUDIO/VIDEO/AUX)に切替える。

■例のようにプログラムした場合は、VIDEOの位置にしてください。

3.各機能のキーを押して操作する。

■リモコンが送信中は、送信インジケータ(TRANSMIT)点灯します。

注意：

■プログラムリモコンで機器を操作するときは、いつもLEARN切替スイッチをUSEの位置で使用してください。

■2つのキーを同時に押す機能(録画など)や一度に多くのコードを送る機能(オートファンクション、番組予約転送など)では、操作方法が異ったり正しく動作しなかったりすることがあります。

■初期状態への戻しかた

1.切替スイッチをLEARNの位置にする。

2.電池カバーをはずす。

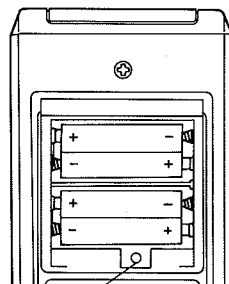
■はずしかたは、“リモコンに電池を入れる”の項を参照してください。

3.学習キーのいずれかを押しLEARNインジケータを点灯させる。

4.ボールペンや先のとがった物を利用して、リセットボタンをLEARNインジケータが点滅している間押し続ける。

■AUDIO、VIDEO、AUXの位置の全てが消去され、一番最初のパイオニア統一リモコンコードの状態になります。

■強く押さないでください。かるく押ししてください。



リセットボタン

仕 様

方式	赤外線方式プログラマブルリモートコントロール
使用電池	単4アルカリ乾電池(LR03/AM-4)4本
付属品	乾電池4本、取扱説明書、テンプレート2枚
外形寸法	73(幅)×28(高さ)×205(奥行き)mm
重量	210g(電池含まず)

Thank you for buying this Pioneer product.

Please read through these operating instructions in order to know how to operate your model properly. After you have finished reading the instructions, put them away in a safe place for future reference.

The operation keys of this remote controller will not operate for the functions which your device does not have or those which are not remote controlled.

Use the learning function to memorize the functions of your remote controller, so that this remote controller can operate these functions.

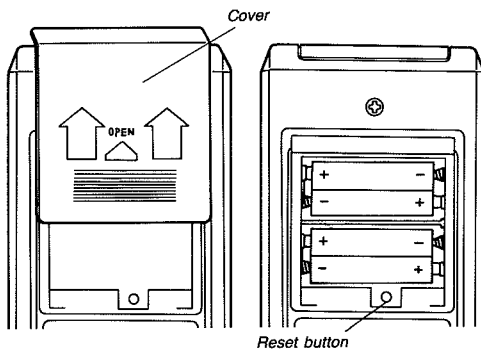
CONTENTS

REMOTE CONTROL OPERATIONS	12
PANEL FACILITIES.....	13
USE OF LEARNING FUNCTIONS	19
SPECIFICATIONS	21

REMOTE CONTROL OPERATIONS

LOADING BATTERIES INTO THE REMOTE CONTROL UNIT

1. **Open the battery compartment cover on the rear of the remote control unit. The cover should open easily if you slide it in the direction of the arrow while pressing on it with your thumb.**
2. **Take out the four supplied alkaline batteries (LR03/AM-4), and insert them into the battery compartment in accordance with the indications in the compartment.**
3. **Close the cover of the battery compartment.**



Incorrect use of batteries may lead to leakage or rupture. Always be sure to follow these guidelines:

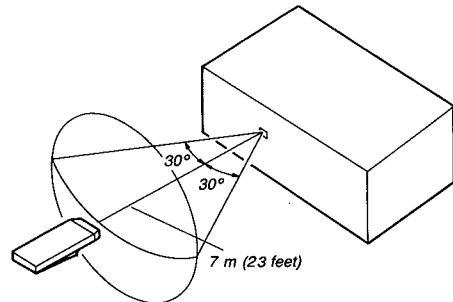
- A.**
Always insert batteries into the battery compartment correctly matching the positive (+) and negative (-) polarities, as indicated inside the compartment.
- B.**
Never mix new and used batteries.
- C.**
Batteries of the same size may have different voltages, depending on their type. Do not mix different type of batteries.

D.

Both rechargeable and non-rechargeable batteries are available. Be sure to use your batteries in accordance with the caution labels affixed to them.

OPERATION RANGE OF REMOTE CONTROL UNIT

When operating the remote control unit, point the infrared signal transmitter part of the unit at the remote control receiver (REMOTE SENSOR) on the front panel of the component. The remote control unit may be used within a range of about 7 meters (23 feet) from the remote sensor, within angles of up to about 30 degrees.



Battery Replacement

When the battery is terminated, the transmit indicator will not light up even when a key is pressed. Be sure to replace the batteries as soon as possible. As the programmed functions will be retained in memory only as long as batteries are inserted, remove the old batteries only if they can be replaced by new ones immediately.

Also, be sure to use always the specified batteries (LR03/AM-4 alkaline batteries).

NOTE:

When no batteries are inserted, the programmed memory contents will be erased after 30 to 60 minutes.

PANEL FACILITIES

FUNCTION OF THE TRANSMIT MODE SELECTOR SWITCH

Changeover in the following cases:

AUDIO:

Select this position for remote control operation of audio equipment such as CD player, tape deck, DAT deck, turntable or tuner.

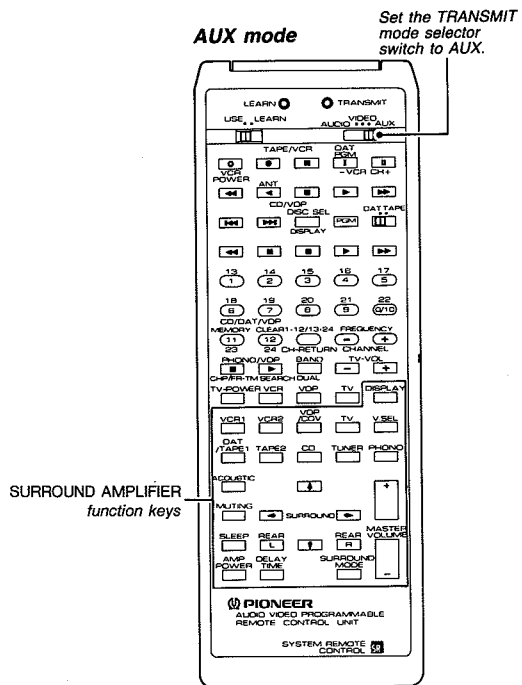
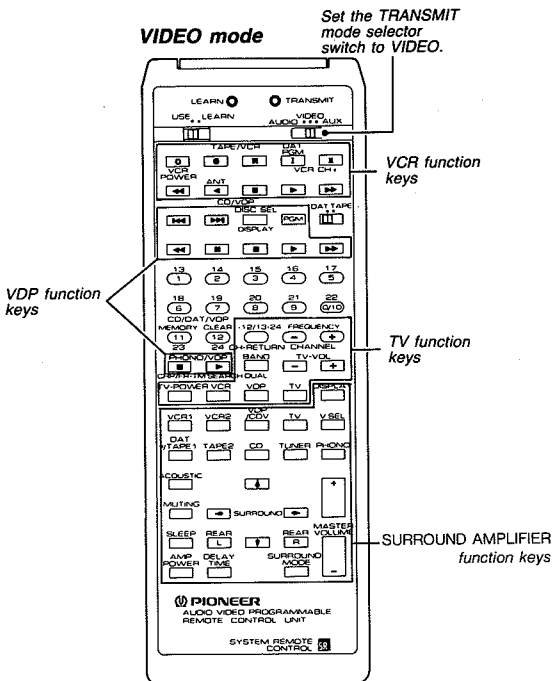
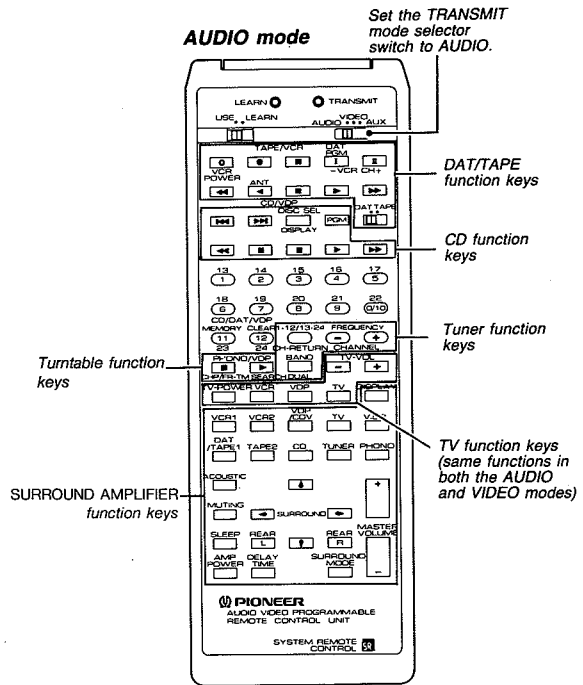
VIDEO:

Select this position for remote control operation of video equipment such as LD player, VCR or TV.

AUX:

AUX is a terminal position for making each key memorize the key functions of other remote controller through the learning function. Since operation keys other than those of the amplifier have not been memorized, those of the second VCR, the tape deck and VDP can be memorized.


- The 1-12 numerical keys are used for DAT, CD, VDP, TV and tuner operation in both the AUDIO and VIDEO modes.
- The SURROUND AMPLIFIER function keys can be equally used in any mode.
- Among the TV function keys the TV POWER, VCR/VDP/TV input selector and volume UP/DOWN keys are operative in both the AUDIO and VIDEO modes.
- Only the SURROUND AMPLIFIER function keys work in the AUX mode. Present in your remote control units.



ENGLISH

PANEL FACILITIES

■ TAPEDECK OPERATION

AUDIO VIDEO AUX
 Set the TRANS-MIT mode selector switch to AUDIO.


TAPE function keys (operation of cassette tape deck or DAT)

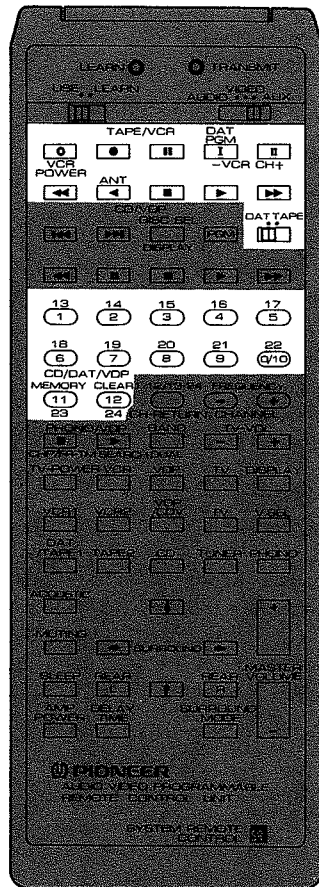
DAT/TAPE selector switch:

Set to DAT for operation of the DAT (Digital Audio Tape) deck, and TAPE for operation of the cassette tape deck.


Explanations in square brackets [] are for the DAT deck only.

- **(REC MUTE) key :**
For insertion of unrecorded spaces between selections.
- **(REC) key :**
Selects the recording mode.
- **(PAUSE) key :**
Temporarily stops the tape transport. Press again to resume tape transport.
- I **(DECK I) key :**
Switches to the deck I functions when using a double cassette tape deck.
- [DAT PGM] key :**
Press to program the DAT deck.
- II **(DECK II) key :**
Switches to the deck II functions when using a double cassette tape deck.
- ◀◀ **(FF) key :**
Fast forwards the tape in the direction of the arrow.
- ◀ **(PLAY) key :**
Selects reverse playback.
- **(STOP) key :**
Stops the tape transport.
- ▶ **(PLAY) key :**
Selects forward playback.
- ▶▶ **(FF) key :**
Fast forwards the tape in the direction of the arrow.
- [1 - 0/10 (numeric) keys]:**
For entering desired selections into the memory.
- [MEMORY key] :**
Stores the program in the memory.
- [CLEAR key] :**
Clears the program stored in the memory.

The functions of your remote control unit in its initial state immediately after purchase are described below. These initial functions can operate all products compatible with PIONEER's common system remote control units made with the symbol .



■ VCR OPERATION

AUDIO VIDEO AUX
 Set the TRANS-MIT mode selector switch to VIDEO.

VCR function keys (operation of VCR)

VCR POWER key :

Switches the VCR power ON/OFF.

● (REC) key :

Selects the recording mode.

■ (PAUSE/STILL) key :

Sets pause and still picture.

VCR CH + (UP) key :

Scans up among the channels in channel memory.

VCR CH - (DOWN) key :

Scans down among the channels in channel memory.

◀◀(REW) key :

Rewinds the tape and allows picture search.

ANT key :

This key can be used only for VCRs with VCR/TV selector. Switches the antenna output VCR to TV.

■ (STOP) key :

Stops tape transport.

▶ (PLAY) key :

Selects playback.





▶▶(FF) key :

Fast forwards the tape and allows picture search.






Note on DAT operation

The program input procedure differs slightly from the one used with DAT deck remote control units.




Procedure using the DAT deck remote control unit

1:  ~  key → 2:  key → 3: Repeat steps 1 and 2 → 4:  key





Procedure using the programmable remote control unit


1:  key → 2:  ~  key → 3:  key → 4: Repeat steps 2 and 3 → 5:  key

Direct selection with the remote control supplied with the DAT deck

1:  ~  key → 2:  key


Direct selection with the programmable remote control

1:  key → 2:  ~  key → 3:  key

As above,  DAT function key must be pressed before entering a number.

CD PLAYER OPERATION

Set the TRANSMIT mode selector switch to AUDIO.



**CD Function Keys
(Operation of CD player)**

◀◀(TRACK SEARCH) key :
Returns to the beginning of the playing track.

▶▶(TRACK SEARCH) key :
Advances to the next track.

DISC SEL key :
Selects the DISC No. (1 to 6) for magazine-type CD players.

PGM key :
Press to program the CD player.

◀◀(MANUAL SEARCH) key :
Selects fast backward.

■ (PAUSE) key :
Pauses playback.

■ (STOP) key :
Stops playback.


▶▶ (PLAY) key :
Selects playback.

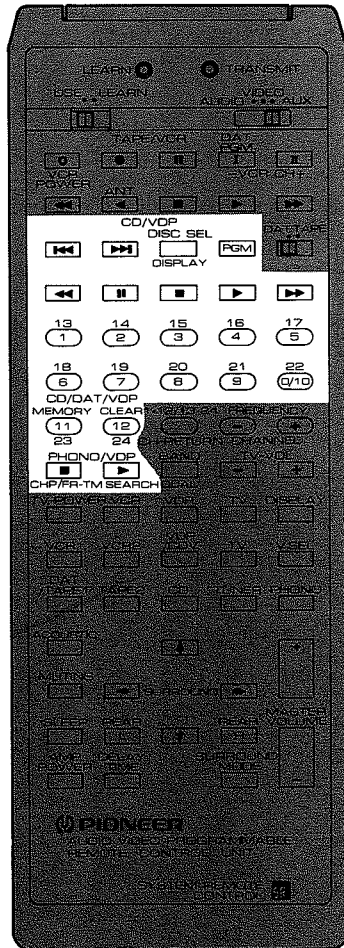
▶▶(MANUAL SEARCH) key :
Selects fast forward.

1 - 0/10 (numeric) keys:
For direct selection of a track or programming of tracks.

MEMORY key:
Memorizes a program.

CLEAR key:
Erases a memorized program.

The functions of your remote control unit in its initial state immediately after purchase are described below. These initial functions can operate all products compatible with PIONEER's common system remote control units marked with the symbol .









ENGLISH







Note on CD operation






The program input and direct music selection procedures differ slightly from the ones used with CD player remote control units.

Programmed playback operation using the CD player remote control unit






(1: Disc No.  ~  key) → 2: Track No.  ~  key → 3:  key → 4: Repeat steps 1 to 3 → 5:  key


Programmed playback operation using the programmable remote control unit

1:  key → (2:  key) → 3:  ~  key → 4:  key → 5: Repeat steps 2 to 4 → 6:  key

Direct music selection using the CD player remote control unit
(1: Disc No.  ~  key) → 2: Track No.  ~  key → 3:  key)


Direct music selection using the programmable remote control unit


(1:  key) → 2:  key → 3:  ~  key → 4:  key

As above, the  CD operation key must be pressed before entering a number.

PANEL FACILITIES

■ VDP OPERATION

AUDIO VIDEO AUX
 Set the TRANS-MIT mode selector switch to VIDEO.

The functions of your remote control unit in its initial state immediately after purchase are described below. These initial functions can operate all products compatible with PIONEER's common system remote control units made with the symbol .

VDP function keys (operation of LD player)

◀◀(CHAPTER SKIP) key :

Returns the beginning of the present chapter.

▶▶(CHAPTER SKIP) key :

Advances to the next chapter.

DISPLAY call key :

Clears the chapter and frame/time displays on the screen.

PGM (PROGRAM) key :

Allows use of chapter program play, frame search and time search.

◀◀(SCAN) key :

Selects fast backward.

■ (PAUSE) key :

Video and audio are stopped and playback is paused.

■ (EJECT) key :

Playback is stopped when pressed once. Pressing again causes the disc tray to come out to the prescribed location.

▶ (PLAY) key :

Selects playback.

▶▶(SCAN) key :

Selects fast forward.

1~0/10 (numeric) keys :

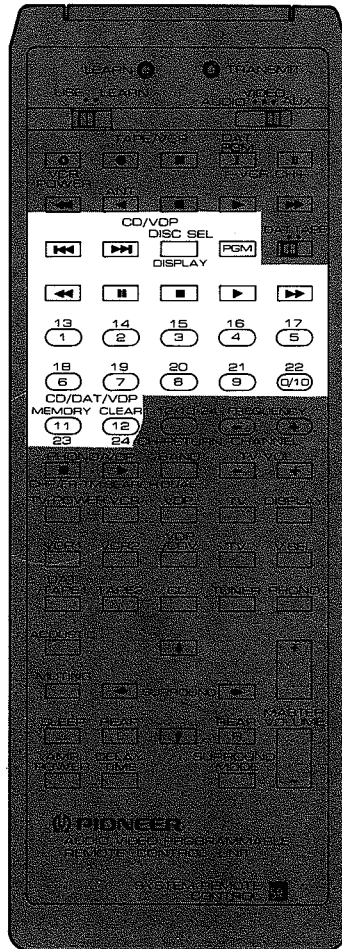
Used for chapter and frame/ time number search and for chapter program play.

MEMORY key :

Used for chapter program play.

CLEAR key :

Used for releasing repeat playback, number correction and mode release during search operation, and for releasing chapter program play.



CHP/FR-TM (CHAPTER/FRAME•TIME)

key:

Used for chapter or frame (time) search operation.

SEARCH key :

Used for the search operation and for the memory repeat operation.

TUNER AND TURNTABLE OPERATION



Set the TRANSMIT mode selector switch to AUDIO.

TUNER function keys (operation of FM/AM Tuner)

1 to 12 (STATION CALL) keys :
Allows direct reception of stations stored in STATION CALL switches.

1•12/13•24 (mode selector) key :
Switches between Mode 1 (1 to 12) and Mode 2 (13 to 24).

FREQUENCY + (UP):
Shifts the frequency up.

FREQUENCY - (DOWN):
Shifts the frequency down.

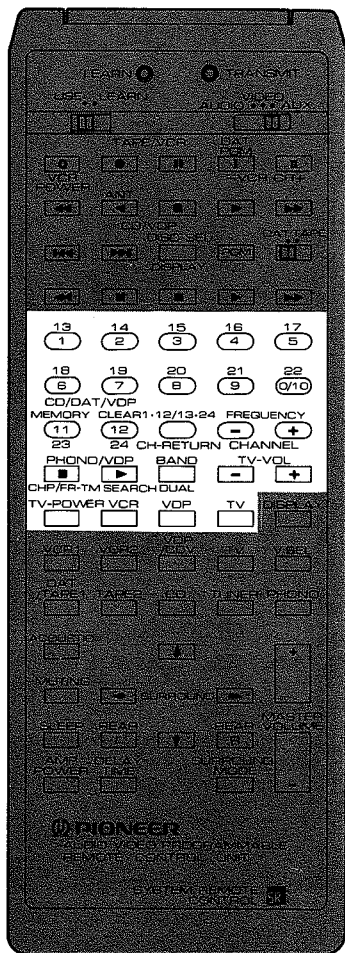
BAND key:
Switches the FM and AM bands by turns.

PHONO function keys (operation of turntable)

▶ **(PLAY) key :**
Selects play.

■ **(STOP) key :**
Stops play.

The functions of your remote control unit in its initial state immediately after purchase are described below. These initial functions can operate all products compatible with PIONEER's common system remote control units made with the symbol



TV OPERATION



Set the TRANSMIT mode selector switch to VIDEO.

TV function keys (operation of component display or projection monitor receiver)

1 to 12 (CHANNEL CALL numeric) keys :
Used to call up channels.

CH-RETURN key :
Returns to the previously received channel.

CHANNEL + (UP) key:
Scans up among the channels in channel memory.

CHANNEL - (DOWN) key:
Scans down among the channels in channel memory.

DUAL (MPX) key:
Switches between MAIN, SUB, and MAIN/SUB. See the TV operating instructions for details.

* **TV-VOL +, - keys :**
Raises and lowers the volume.

* **TV-POWER key :**
Switches the power of the TV ON/OFF.

* **VCR, VDP, TV keys :**
Switch to the corresponding input.

[Reference]

The keys marked with * have the same function in both the AUDIO and VIDEO positions.

ENGLISH

PANEL FACILITIES

■ AMPLIFIER OPERATION

Operative regardless of the positioning of the TRANSMIT mode selector switch.

AMPLIFIER function key. function keys :

INPUT SELECTOR keys :

Press VCR 1, VCR 2/AUX, VDP/CDV, TV, CD, TUNER or PHONO to switch the amplifier input.

V. SEL (Video signal selector):

After pressing the V. SEL key, only the video signal can be changed. The selected audio signal remains as set.

TAPE MONITOR keys:

Press DAT/TAPE 1, TAPE 2 to switch between source and monitor.

ACOUSTIC memory select key :

The acoustic setting changes in the following manner each time this key is pressed

Example :

FLAT → LOUDNESS → MEMORY A
MEMORY C → MEMORY B

MUTING key:

Used to temporarily mute the sound. The volume is restored when pressed again.

SLEEP timer key :

Activates the SLEEP timer. The length changes in the following manner each time the key is pressed:

Example :

60 → 45 → 30 → 15 → OFF


Unit: minutes

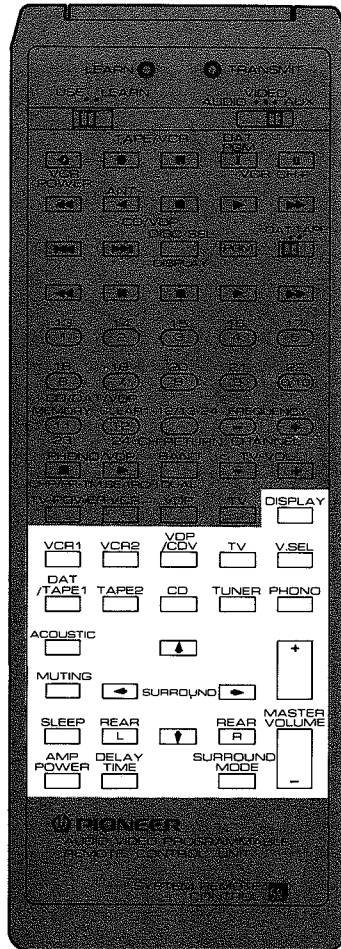
AMP POWER key :

Switches the amplifier power ON/OFF.

REAR L, R keys :

Adjusts the left/right volume level balance of the surround speakers.
L side . . . when sound of R channel is too loud
R side . . . when sound of L channel is too loud

The functions of your remote control unit in its initial state immediately after purchase are described below. These initial functions can operate all products compatible with PIONEER's common system remote control units made with the symbol 



DELAY TIME key :

Switches the delay time for surround each time it is pressed.

Example :

15 ms → 20 ms → 30 ms

SURROUND keys (→, ←, ↑, ↓):

The surround area can be set as desired by pressing these four keys. The left and right keys adjust the left and right level balance. The upper and lower keys adjust the front and surround level balance.

SURROUND MODE key :

The surround mode is switched in the following manner each time the key is pressed:

Example :

STADIUM → SIMULATED SURROUND
OFF ← DOLBY SURROUND

MASTER VOLUME key :

Adjusts the overall (front and surround) volume.

DISPLAY key:

Displays/cancels the indication on the TV screen.

USE OF LEARNING FUNCTIONS

Prologue:

This programmable remote control unit is a remote control unit with learning functions. It is capable of learning and memorizing the remote control codes for operation of not only Pioneer audio and video equipment but also for AV equipment of other manufacturers. It is very convenient as all operations can be made from a single remote control unit. It can only store the remote control codes of infrared-type units. As almost all current wireless remote control units use the infrared system, this learning function allows for command code storage for most audio and video components.

The programmable remote control can memorize control signals for other system components. However, this does not mean that the remote controls of other components are not needed anymore, since they must be used at times of re-programming.

NOTE:

When programming, make sure that the equipment cannot operate. Otherwise, loss of important tapes or sudden loud noise output may occur.

Operation can be prevented by turning off the main power supply of the equipment removing the power cord from the AC outlet or covering the remote sensor window.

Note that infrared rays are liable to be reflected off walls or the ceiling to cause the equipment to operate.

Keys which can be preset

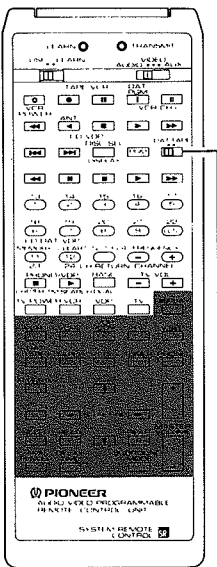
When the TRANSMIT mode selector switch is in the AUDIO or VIDEO position, the learning function works for all keys other than the SURROUND AMPLIFIER function keys. In the AUX position, the learning function works for all keys.

Preset commands can be changed.


In the AUDIO and VIDEO positions, the unit is preset at the factory with Pioneer's uniform remote control codes. If the corresponding equipment is Pioneer, they can be used as they are. If more operations than those first stored in the memory are desired, use the learning function. In addition, it is possible to restore the Pioneer uniform remote control codes even after other codes have been preset. (Refer to "Returning to Initial State" for this procedure.)

- In each mode one function per key may be programmed, for a total of 154 functions.
- When presetting keys, make sure that the remote control units of both this and the other component are loaded with fresh batteries.
- For some special remote signal types of infrared remote control units programming may be impossible.

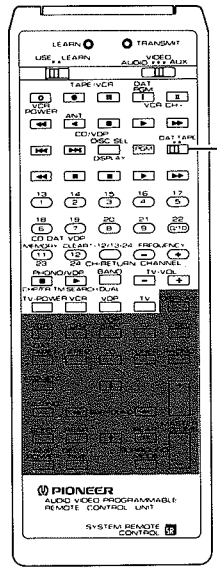
AUDIO mode



In the AUDIO mode the TAPE function keys can be preset with new functions for the DAT position or the TAPE position.

The initial  settings will remain in the other position. (Learnable 43 keys).

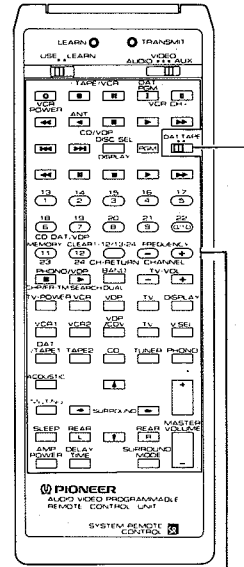
VIDEO mode



In the VIDEO mode the DAT/TAPE switch is inoperative (Learnable 43 keys).

When teaching functions whose names differ from those of the keys, write in the names or codes of the functions on the included templates and place on the panel.

AUX mode



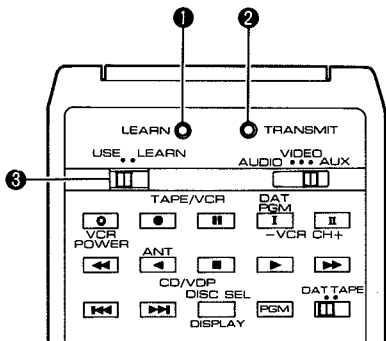
All buttons can be preset (Learnable 68 keys).

In the AUX mode the DAT/TAPE switch is inoperative.

USE OF LEARNING FUNCTIONS

Using the remote control unit of your VCR to program the playback command.

- It is recommended that the name of the key and its function correspond. This is convenient when operating equipment.



1 LEARN indicator

This indicator shows the remote control unit operating condition.

LIT:

Learning is possible.

OFF:

Regular remote control functions are performed.

FLASHING:

When you forced to learn by the keys which can not learn.

2 TRANSMIT indicator

This indicator flashes when remote control signals are sent.

3 LEARN selector switch

Set as follows:

LEARN:

This position is used for storing the codes of your remote control unit.

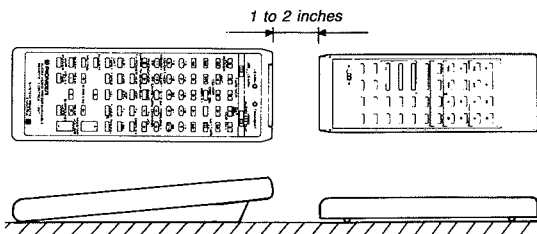
USE:

Set to this position after codes have been stored in the LEARN position. Set to this position for normal operation.

[Operation example]

- Set the LEARN switch of the programmable remote control unit to the LEARN position and set the TRANSMIT mode selector switch to the VIDEO position.
 - Programming is possible with the TRANSMIT mode selector switch in any position, but VIDEO is used as an example.

- Place the transmission sections of the programmable remote control unit and the remote control of the VCR facing each other.



- Place the two units on a table, separated by 2 to 5 cm (1 to 2 inches).

Memorization will not be possible if they are too close.

- Hold down the VCR PLAY key of the programmable remote control unit until the LEARN indicator lights up, then release the key.
- Hold down the PLAY key of the VCR remote control unit.
- Release the key of the VCR remote control after making sure that the LEARN indicator of the programmable remote control has been extinguished.

NOTE:

If the LEARN indicator flashes, it indicates that you are trying to preset a key not available for the learning function, or otherwise the program capacity has been exceeded. In case the program capacity has been exceeded, the function programmed last will not be memorized correctly. All previously programmed functions, however, will be retained in memory and may be used as they are if the last function is not essential. For re-programming refer to page 21 "Returning to the Initial Settings".

- Set the LEARN selector switch of the programmable remote control unit to the USE position.
 - The previous code (Pioneer uniform remote control code or code for other equipment) is erased and replaced by the new code.
- Check that the program works.
 - Try actual operation and make sure the unit works properly.
 - If the VCR does not operate when pressing the key, change angle, position and distance between both remote control units and repeat the programming procedure.
 - When programming, make sure that the function indications (for example, ►, ►►, ■) on the other remote control unit and the programmable remote control unit are the same. This will facilitate operation.

Questions and Answers about the Learning Function

Q: The remote control unit of my VCR has two REC (recording) keys. They both have to be pressed at the same time to start recording. What is the learning procedure in this case?

A: Hold one of the keys on the programmable remote control depressed (for example the VCR ● key) until the LEARN indicator lights up, and then press the two keys on the VCR remote control simultaneously.

Q: The remote control unit of my VCR has a REC (recording) key and a PLAY (playback) key and they both have to be pressed at the same time to start recording. What is the learning procedure in this case?

A: Hold one of the keys on the programmable remote control depressed (for example the VCR ● key) until the LEARN indicator lights up, and then press the REC and PLAY keys on the VCR remote control simultaneously.

- As described above, operations which require two keys to be pressed at the same time are programmed by pressing the two keys simultaneously.

Operating other equipment by the programmable remote control unit

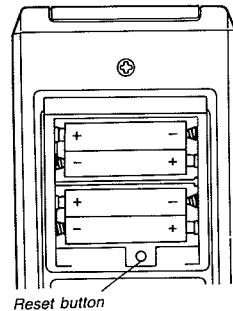
1. Set the LEARN switch of the programmable remote control unit to the USE position.
2. Set the TRANSMIT mode selector switch to the desired position (AUDIO/VIDEO/AUX).
 - Set to the VIDEO position for programming as described in the example.
3. Press the key of the desired function.
 - The TRANSMIT indicator lights up while the remote control unit is sending codes.

Note:

- When operating a device with the programmed remote controller, always set the LEARN changeover switch to the USE position.
- For functions which require two keys to be pressed at the same time (recording etc.) or functions for which several codes are sent simultaneously (auto functions, timer programming, etc.) the programming procedure is different and improper operation may occur.

Returning to the Initial Settings

1. Set the LEARN selector switch to the LEARN position.
2. Remove the battery cover.
 - Refer to "LOADING BATTERIES INTO THE REMOTE CONTROL UNIT" for the procedure used to remove the cover.
3. Press one of the LEARN keys. The LEARN indicator will light up.
4. Use a ball-point pen or similar object to press the RESET key while the LEARN indicator is flashing.
 - The programmed functions for the AUDIO, VIDEO and AUX positions are cleared, and the remote control unit is reset to the Pioneer uniform remote control codes.
 - Do not press the keys with too much force.



SPECIFICATIONS

Operation system: Programmable infrared remote control system

Applicable batteries: four LR03/AM – 4 alkaline batteries

Attachments: four batteries, an operating instructions, a written guarantee and two templates.

Outer dimensions: 73 W x 28 H x 205 D mm

Weight: 210 g (excluding batteries)

Merci d'avoir choisi ce produit Pioneer.
 Prière de lire attentivement le mode d'emploi afin de bien assimiler les fonctions de cette télécommande puis de le mettre de côté afin de pouvoir le consulter ultérieurement.

Les touches de commande de ce module télécommande n'ayant pas de contrepartie sur le dispositif à télécommander ou dont la contrepartie n'est pas télécommandable ne sont pas opérationnelles.

La fonction de programmation permet d'affecter les commandes de ce module à différentes fonctions.

SOMMAIRE

EMPLOI DE LA TELECOMMANDE.....	22
NOMENCLATURE DES COMMANDES.....	23
PROGRAMMATION DE CODES ETRANGERS...	30
FICHE TECHNIQUE	32

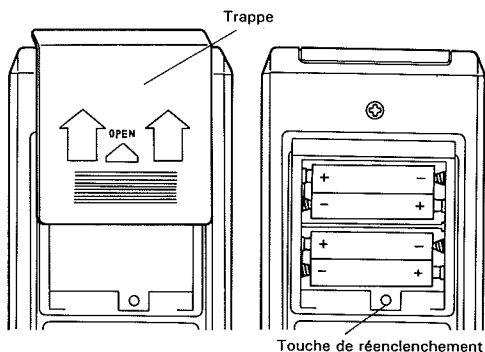
EMPLOI DE LA TELECOMMANDE

MISE EN PLACE DES PILES

1. Ouvrir la trappe du compartiment à piles implanté au dos de la télécommande simplement en la faisant coulisser dans le sens de la flèche en appuyant dessus avec le pouce.

2. Prendre les quatre piles "LR03/AM-4" fournies d'origine et les mettre en place dans le compartiment de la manière indiquée à l'intérieur.

3. Refermer la trappe du compartiment à piles.



Les piles risquent de fuir si elles sont mal employées. Absolument se conformer aux indications suivantes, à savoir :

A.

Absolument orienter les polarités (+) et (-) des piles de la manière indiquée dans le compartiment.

B.

Ne jamais mélanger des piles neuves avec des piles usagées.

C.

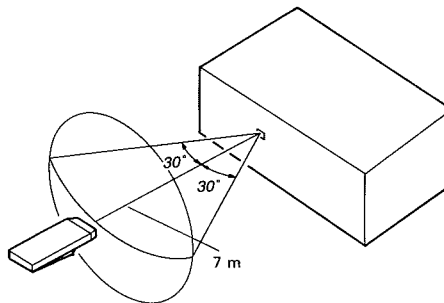
Selon les marques, les caractéristiques de piles d'un même format peuvent être différentes. Ne pas mélanger différentes marques de piles.

D.

Il existe deux types fondamentaux de piles : rechargeables et non rechargeables. Veiller à bien se conformer aux indications portées sur leur étiquette.

PLAGE DE FONCTIONNEMENT DE RA TELECOMMDNDE

Pour télécommander un appareil, pointer la cellule émettrice à infra-rouges vers la cellule captrice (télécapteur) implantée sur la façade du dispositif à télécommander. La télécommande est opérationnelle dans un rayon d'environ 7 mètres du télécapteur, pour des angles pouvant aller jusqu'à à peu près 30 degrés.



Remplacement des piles

Si le témoin d'émission ne s'allume plus même en appuyant sur une touche, c'est que les piles sont hors d'usage et qu'elles doivent être remplacées. Les fonctions programmées en mémoire sont effacées si les piles sont déchargées. Il convient donc de les remplacer le plus vite possible, absolument par les piles spécifiées (piles alcalines "LR03/AM-4").

NOTE :

La mémoire est effacée 30 à 60 minutes après le retrait des piles.

Absolument utiliser les piles spécifiées (LR04/AM-4 alcalines)

NOMENCLATURE DES COMMANDES

■SELECTEUR DE MODE D'ÉMISSION :

Commuter dans les cas suivants:

AUDIO :

Amener le sélecteur de mode d'émission sur la position AUDIO afin de télécommander des dispositifs tels que lecteur de disque compact, magnétophone (analogique ou numérique), platine - disque ou tuner.

VIDEO :

Amener le sélecteur de mode d'émission sur la position VIDEO afin de télécommander des dispositifs tels que lecteur de vidéodisque, magnétoscope ou téléviseur.

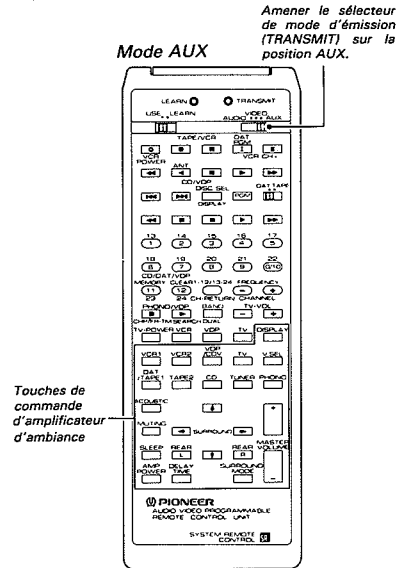
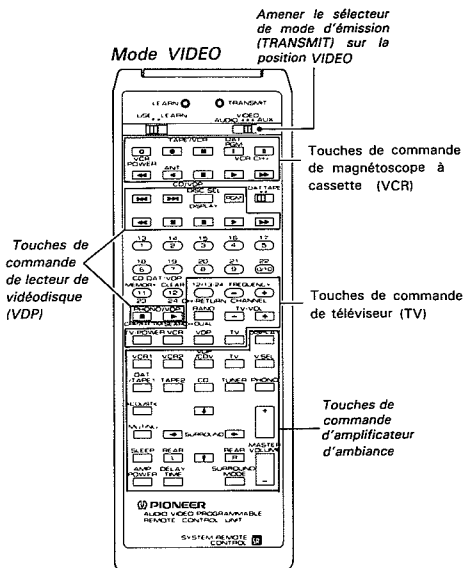
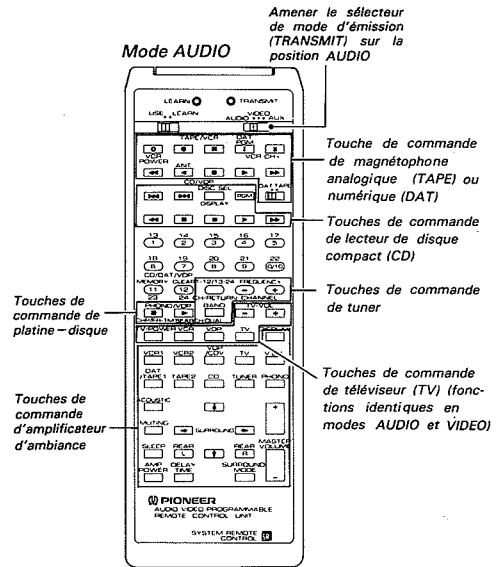
AUX :

La position AUX permet de programmer les fonctions de télécommande d'appareils d'origine différente. Les fonctions autres que celles d'amplificateur n'ayant pas été mémorisées, il est possible de mémoriser celles de second magnétoscope, magnétophone et lecteur vidéodisque.

- Les touches 1 à 12 sont affectées à la commande de magnétocassette numérique, lecteur de disque compact, lecteur de vidéodisque, tuner et téléviseur en modes AUDIO et VIDEO.
- Les touches de commande d'amplificateur ne concernent que ce dispositif, dans les trois modes opératoires.
- Parmi les touches affectées à la télévision, celles de sélection d'entrée d'alimentation de téléviseur (TV POWER), de magnétoscope, de lecteur de vidéodisque et de téléviseur (VCR/VDP/TV) ainsi que les touches d'augmentation et de diminution

de volume (UP/DOWN) sont opérationnelles aussi bien en mode AUDIO qu'en mode VIDEO.

- En mode auxiliaire (AUX), seules les touches de commande d'amplificateur d'ambiance sont opérationnelles. Toutes les instructions nécessaires doivent être présélectionnées dans la télécommande.



FRANÇAIS

NOMENCLATURE DES COMMANDES

■ TELECOMMANDE DE MAGNETOPHONE



Amener le sélecteur de mode d'émission (TRANSMIT) sur la position AUDIO.

Touches de commande de magnétocassette analogique ou numérique

Sélecteur de magnétocassette numérique/magnétophone analogique (DAT/TAPE)

Amener sur DAT pour télécommander un magnétocassette analogique ou sur TAPE pour un magnétophone numérique.

Magnétocassette numérique (DAT) :

Amener sur cette position pour télécommander un magnétocassette numérique.

Magnétophone analogique (TAPE) :

Amener sur cette position pour télécommander un magnétophone analogique.

Les mentions entre crochets [] ne concernent que les magnétocassettes numériques.

○ Touche de sourdine d'enregistrement (REC MUTE) :


Cette touche permet de ménager des plages vierges entre les enregistrements.

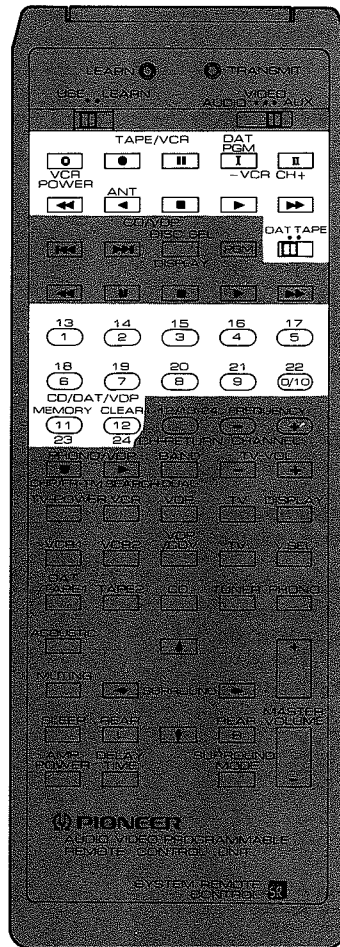
● Touche d'enregistrement (REC) :

Sélection de mode d'enregistrement.

■ Touche de pause (PAUSE) :

Une pression permet d'interrompre temporairement le défilement de la bande qui reprend dès que cette touche est actionnée à nouveau.

Les fonctions de cette télécommande telles qu'elles se présentent à l'origine sont détaillées ci-dessous. Ces fonctions initiales permettent de commander tous les dispositifs compatibles avec les télécommandes générales PIONEER portant le symbole .



I Touche de platine I (DECK I) :

Affectée à la mise en service de la platine I pour les magnétocassettes à double platine.

Touche de programmation de magnétocassette numérique (DAT PGM) :
Touche affectée à la programmation d'un magnétocassette numérique.

II Touche de platine II (DECK II) :

Cette touche télécommande la mise en service de la platine II pour les magnétocassettes à double platine.

◀ Touche d'avance accélérée (FF) :

Défilement accéléré de la bande dans le sens de la flèche.

◀ Touche de reproduction inversée (PLAY) :

Pour lancer la lecture d'une bande en marche arrière.

■ Touche d'arrêt (STOP) :

Arrêt de défilement de la bande.

▶ Touche de reproduction (PLAY) :

Pour lancer la lecture d'une bande en marche avant.

▶▶ Touche de rebobinage (FF) :

Défilement accéléré de la bande dans le sens de la flèche.

Touches numériques (1-0/10) :

Ces touches sont affectées à la programmation de valeurs numériques dans la mémoire.

[Touche de mémoire (MEMORY)] :

Cette touche sert à la programmation de la mémoire.

[Touche d'effacement (CLEAR)] :

Pour effacer la programmation de mémoire.

■ TELECOMMANDE DE MAGNETOSCOPE



Amener le sélecteur de mode d'émission (TRANSMIT) sur la position VIDEO.

Touches de commande de magnéscope (VCR) :

Touche d'alimentation (VCR POWER) :

Cette touche sert à la mise sous/hors tension (ON/OFF) du magnéscope.

● **Touche d'enregistrement (REC) :**

Sélection du mode d'enregistrement.

■ **Touche de pause/arrêt sur image (PAUSE/STILL) :**

Commande de pause et d'arrêt sur image.

Touche de croissance (+)(UP) :

Pour passer sur un canal dont la désignation numérique est supérieure.

Touche de décroissance (-)(DOWN) :

Pour passer sur un canal dont la désignation numérique est inférieure.


◀ **Touche de rebobinage (REW) :**

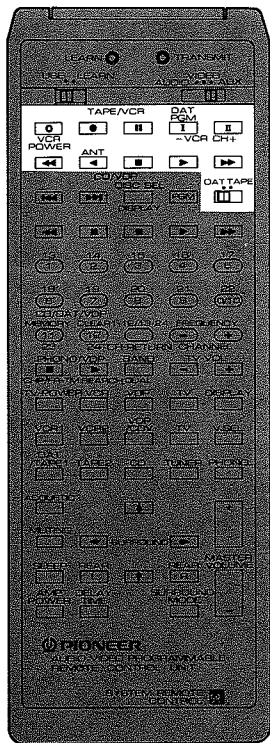
Rebobinage de bande et recherche d'image.

Touche d'antenne (ANT) :

Cette touche n'est opérationnelle qu'avec les magnétoscopes pourvus d'un sélecteur magnéscope/téléviseur (VCR/TV).

Elle commande la commutation de sortie d'antenne entre magnéscope et téléviseur.

Les fonctions de cette télécommande telles qu'elles se présentent à l'origine sont détaillées ci-dessous. Ces fonctions initiales permettent de commander tous les dispositifs compatibles avec les télécommandes générales PIONEER portant le symbole .






■ **Touche d'arrêt (STOP) :**
Arrêt de défilement de la bande.

▶ **Touche de reproduction (PLAY) :**
Commande de lecture de bande.


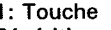


▶▶ **Touche d'avance accélérée (FF) :**
Avance accélérée de bande et recherche d'image.

Remarques sur l'emploi des magnétocassettes numériques



La méthode de programmation est légèrement différente de celle des télécommandes spéciales pour magnétocassette numérique. Mode d'emploi de télécommande pour magnétocassette numérique:

1: Touches  → 2: Touche de programmation  → 3: Répétition de 1 et 2 → 4: Touche 

Mode d'emploi de la télécommande programmable:


1: Touche  → 2: Touche  → 3: Touche  → 4: Répétition de 2 et 3 → 5: Touche 

Sélection directe par télécommande fournie d'origine avec la magnétocassette numérique:

1: Touches  → 2: Touche 

Sélection directe par télécommande programmable:

1: Touches  2: Touches  → 3: Touche 

Comme dans l'exemple ci-dessus, la touche de fonction  DAT doit être actionnée avant toute introduction numérique.

FRANÇAIS

NOMENCLATURE DES COMMANDES

■ COMMANDE DE LECTEUR DE DISQUE COMPACT

VIDEO
AUDIO ●●●● AUX
Amener le sélecteur de mode d'émission (TRANSMIT) sur la position AUDIO.

Touches de commande de lecteur de disque compact (CD)

◀◀ **Touche de saut arrière (TRACK SEARCH)**
Pour revenir au début de la plage en cours de reproduction.

▶▶ **Touche de saut avant (TRACK SEARCH)**
Passage à la plage enregistrée suivante.


Sélecteur de disque (DISC SEL) :

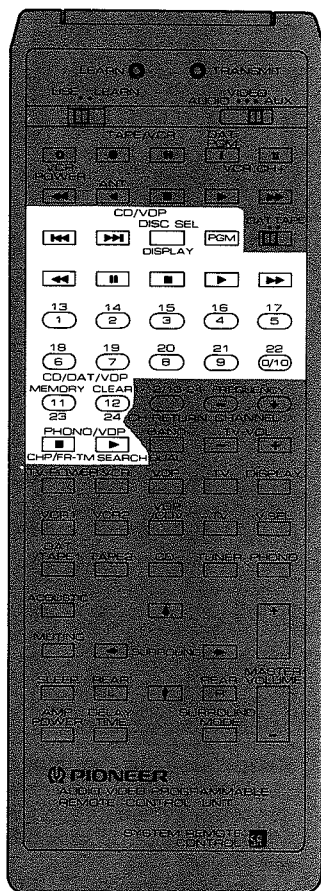
Cette touche permet de sélectionner le No. de disque (1 à 6) pour les lecteurs de disque compact programmables.

Touche de programmation (PGM) :

Appuyer sur cette touche pour programmer le lecteur de disque compact.

◀◀ **Touche de recul accéléré (MANUAL SEARCH)**
Pour revenir en arrière à vitesse accélérée.

Les fonctions de cette télécommande telles qu'elles se présentent à l'origine sont détaillées ci-dessous. Ces fonctions initiales permettent de commander tous les dispositifs compatibles avec les télécommandes générales PIONEER portant le symbole .



■ **Touche de pause (PAUSE) :**

Appuyer sur cette touche afin d'interrompre provisoirement le processus de lecture.

■ **Touche d'arrêt (STOP) :**
Commande d'arrêt total de lecture.

▶ **Touche de reproduction (PLAY) :**
Commande de lecture.

▶▶ **Touche d'avance accélérée (MANUAL SEARCH) :**
Pour partir en avant à vitesse accélérée.

Touches numériques (1-0/10) :

Pour la sélection directe d'une ou plusieurs plages.

Touche de mémoire (MEMORY) :

Cette touche sert à la programmation de la mémoire.

Touche d'effacement (CLEAR) :

Pour effacer la programmation de mémoire.

Remarques sur les lecteurs de disque compact

Les modes de programmation d'entrée et de sélection directe sont légèrement différents de ceux habituellement employés pour les lecteurs de disque compact.


Programmation de lecture par télécommande de lecteur de disque compact :

1: Touche de No. de disque (1 ~ 6) → 2: Touche de No. de piste (1 ~ 6) → 3: Touche de MEMORY → 4: Répétition des opérations 1 ~ 3 → 5: Touche PLAY


Programmation de lecture par télécommande programmable :

1: Touche PGM → (2: Touche DISC SEL) → 3: Touches 0/10 ~ 9 → 4: Touche MEMORY →

5: Répétition des opérations 2 ~ 4 → 6: Touche . Sélection directe par télécommande de lecteur de disque compact

(1: Touche de No. de disque (1 ~ 6)) → 2: Touche de No. de piste (1 ~ 6) → 3: Touche 

Sélection directe par télécommande programmable

(1: Touche DISC SEL) → 2: Touche PGM → 3: Touches 0/10 ~ 9 → 4: Touche 

Comme pour l'exemple ci-dessus, la touche de programmation PGM de lecteur de disque compact doit être actionnée avant l'introduction de paramètre numérique.

NOMENCLATURE DES COMMANDES

■ COMMANDE DE LECTEUR DE VIDEODISQUE



Amener le sélecteur de mode d'émission (TRANSMIT) sur la position VIDEO.

Touches de commande de lecteur de vidéodisque (VDP)

◀◀ Touche de saut arrière (CHAPTER SKIP) :
Commande de retour au début de la plage en cours de reproduction.

▶▶ Touche de saut avant (CHAPTER SKIP) :
Passage au début de la plage suivante.


Touche d'affichage (DISPLAY) :
Commande d'annulation de visualisation d'image/temps sur l'écran.

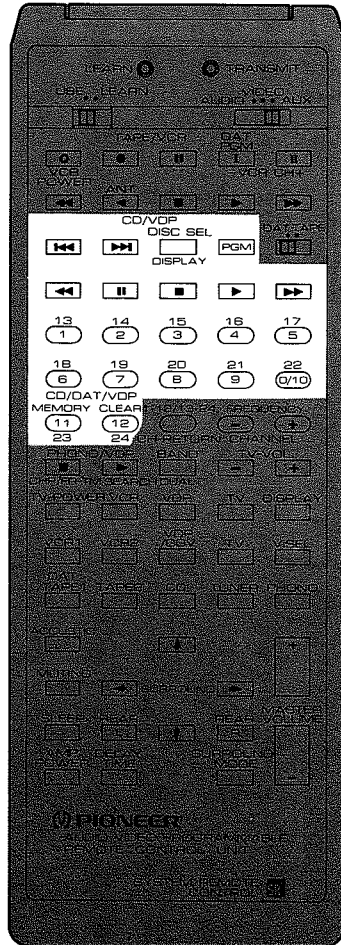
Touche de programmation (PGM) :
Cette touche permet de programmer la séquence de reproduction, la recherche d'image et le temps de repérage.

◀◀ Touche de balayage arrière (SCAN) :
Commande de balayage en marche arrière accélérée.

■ Touche de pause (PAUSE) :
Cette touche permet d'interrompre le processus de reproduction. L'image et le son sont donc arrêtés.

■ Touche d'éjection (EJECT) :
La première pression sur cette touche provoque l'arrêt de reproduction. Une seconde pression induit l'ouverture du tiroir à vidéodisque.

Les fonctions de cette télécommande telles qu'elles se présentent à l'origine sont détaillées ci-dessous. Ces fonctions initiales permettent de commander tous les dispositifs compatibles avec les télécommandes générales PIONEER portant le symbole .



▶ Touche de reproduction (PLAY) :
Commande de lecture.

▶▶ Touche de balayage avant (SCAN) :
Commande de balayage en marche avant accélérée.

Touches numériques (1~0/10) :
Ces touches servent au repérage de plage et d'image/durée ainsi qu'à la programmation de séquence de lecture.

Touche de mémoire (MEMORY) :
Pour la programmation de séquence de lecture de vidéodisque.

Touche d'effacement (CLEAR) :
Annulation de répétition de lecture, correction de numérotation, annulation de mode de repérage et annulation de séquence de lecture programmée.

Touche de repérage de plage/image et durée (CHP/FR-TM) :
Touche affectée à la recherche de plage ou d'image (durée).

Touche de repérage (SEARCH) :
Cette touche sert à commander le balayage ainsi que la lecture à répétition programmée en mémoire.

FRANÇAIS

NOMENCLATURE DES COMMANDES

■ TELECOMMANDE DE TUNER ET TABLE DE LECTURE



Amener le sélecteur de mode d'émission (TRANSMIT) sur la position AUDIO.

COMMANDES DE TUNER AM/FM

Touches de sélection de station émettrice (1 à 12) :

Ces touches (STATION CALL) permettent de capter directement les stations émettrices dont la fréquence leur a été affectée.

Touche de sélection de mode (1·12/13·24) :

Sélection des modes 1 (1 à 12) et 2 (13 à 24)

Touche de majoration de fréquence (+) :

Augmentation progressive de la fréquence radio captée.

Touche de minoration de fréquence (-) :

Baisse progressive de la fréquence radio captée.

Touche de sélection de gamme d'ondes (BAND) :

Chaque pression fait passer de la réception FM à la réception AM (PO et GO) et vice-versa.

COMMANDES DE PLATINE - DISQUE DE LECTURE (PHONO)

► **Touche de lecture (PLAY) :**
Commande de lecture de disque.


■ **Touche d'arrêt (STOP) :**
Commande d'arrêt de lecture de disque.

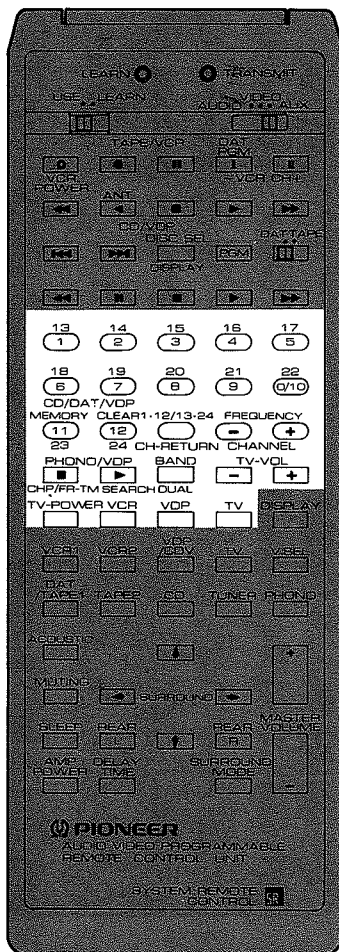
■ COMMANDES DE TELEVISION (TV)



Amener le sélecteur de mode d'émission (TRANSMIT) sur la position VIDEO.

Reproduction de vidéo ou de télédiffusion (TV)

Les fonctions de cette télécommande telles qu'elles se présentent à l'origine sont détaillées ci-dessous. Ces fonctions initiales permettent de commander tous les dispositifs compatibles avec les télécommandes générales PIONEER portant le symbole .



Touche de sélection de chaîne supérieure (+) :

Cette touche permet de sélectionner les chaînes dont l'affectation numérique est supérieure à celle en cours de réception.

Touche de sélection de chaîne inférieure (-) :

Cette touche permet de sélectionner les chaînes dont l'affectation numérique est inférieure à celle en cours de réception.

Touche de mode double (MTS) :

Cette touche permet d'opérer la commutation entre les modes MAIN, SUP et MAIN/SUP. Consulter le mode d'emploi du téléviseur pour de plus amples détails.

* Touches de commande de volume télévision (TV-VOL + et -)

Commandes d'augmentation et diminution de volume sonore du téléviseur.

* Touche d'alimentation de téléviseur (TV-POWER) :

Commande de mise sous/hors tension du (ON/OFF) téléviseur.

* Touches de magnéscope (VCR), lecteur de vidéodisque (VDP) et télévision (TV) :

Ces touches permettent de commander la reproduction des dispositifs concernés sur le téléviseur.

[Remarque]

La fonction des touches notées d'une astérisque (*) est identique en modes AUDIO et VIDEO.

Touches de sélection de chaîne (1 à 12) :

Commandes de sélection de chaîne de télédiffusion.

Touche de rappel de chaîne (CH-RETURN) :

Pour revenir sur la chaîne précédemment captée.

■ COMMANDE D'AMPLIFICATEUR

Opérationnel quel que soit le positionnement du sélecteur de mode d'émission (TRANSMIT).

Touches de commande d'amplificateur :

Touches de sélection d'entrée

Sélectionner l'entrée de l'amplificateur à l'aide des touches VCR1 (magnétoscope1), VCR2/AUX (magnétoscope2/appareil auxiliaire), VDP/CDV (lecteur de vidéodisque), TV (téléviseur), CD (lecteur de disque compact), TUNER ou PHONO (platine - disque de lecture).

Touche de sélection de signal vidéo (V.SEL) :

Use fois que la touche V.SEL a été actionnée, seuls les signaux vidéo peuvent être modifiés. Le signal audio sélectionné reste inchangé.

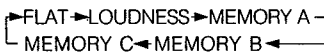
Touches de contrôle de bande

Appuyer sur les touches DAT/TAPE1 (magnétocassette numérique/analogique1) ou TAPE2 (magnétophone analogique2) afin de choisir entre écoute de source ou contrôle de bande.

Touche de sélection de mémoire acoustique (ACOUSTIC) :


A chaque pression sur cette touche, la réponse acoustique change de la manière indiquée ci-dessous.

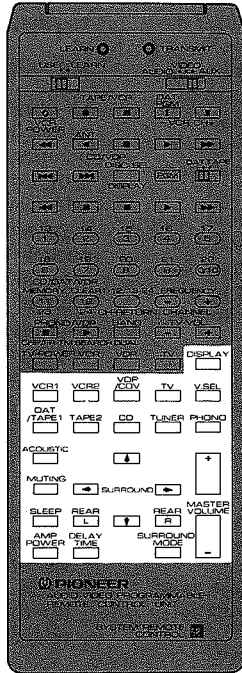
[Exemple]



Touche de sourdine (MUTING)

Coupure provisoire du son. Le volume revinent à son niveau antérieur si cette touche est actionnée une fois.

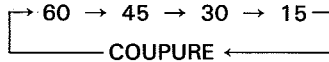
Les fonctions de cette télécommande telles qu'elles se présentent à l'origine sont détaillées ci-dessous. Ces fonctions initiales permettent de commander tous les dispositifs compatibles avec les télécommandes générales PIONEER portant le symbole .



Touche de chronorupteur (SLEEP) :

Cette touche commande le chronorupteur intégré. Chaque pression modifie successivement l'intervalle temporel de la manière suivante :

[Exemple]



Unité : minute

Touche d'alimentation d'amplificateur (AMP POWER) :

Pour la mise sous/hors tension (ON/OFF) de l'amplificateur.

Touches de volume arrière droit et gauche (REAR L & R) :

Ces touches sont affectées au réglage indépendant du volume des enceintes d'ambiance arrière droite/gauche.

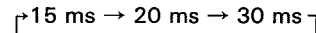
Touche gauche (L) : baisse du volume de l'enceinte arrière droite

Touche droite (R) : baisse du volume de l'enceinte arrière gauche

Touche de temporisation (DELAY TIME) :

Chaque pression sur cette touche permet de modifier l'intervalle de temporisation d'ambiance, à savoir :

[Exemple]



Touches d'ambiance (SURROUND) :

(→, ←, ↑, ↓)

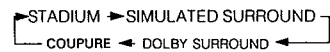
La zone d'ambiance peut être déterminée à l'aide de ces touches.

Les touches droite et gauche servent au réglage d'équilibre acoustique droite/gauche alors que les touches supérieure et inférieure sont affectées à celui d'équilibrage avant/arrière (ambiance).

Touche de mode d'ambiance (SURROUND MODE) :

Chaque pression sur cette touche permet de sélectionner le mode d'ambiance de la manière suivante, à savoir :

[Exemple]



Touche de volum general (MASTER VOLUME) :

Commande affectée au réglage global du volume d'écoute (enceintes avant et d'ambiance).

Touche d'affichage (DISPLAY) :

Cette touche permet de commander la visualisation et l'annulation au niveau du téléviseur.

FRANÇAIS

PROGRAMMATION DE CODES ETRANGERS

Synopsis :

Cette télécommande est un instrument programmable capable d'apprendre et mémoriser les codes de télécommande affectés non seulement aux équipements audio et vidéo Pioneer mais également à ceux de marques différentes. Cette particularité est extrêmement commode : elle permet en effet de télécommander tous les appareils avec un seul module de télécommande à condition qu'il s'agisse de codes pour infra-rouges. Comme la plupart des modules de télécommande sans fil fonctionne avec des rayons infra-rouges, cette fonction de programmation est exploitable avec la majeure partie des dispositifs audio-visuels.

La télécommande programmable est à même de mémoriser les signaux de commande d'appareils de marque autre que Pioneer. Les télécommandes précédemment employées au niveau de ces dispositifs devront cependant être utilisées en cas de nouvelle programmation.

NOTE :

Veiller à ce que les appareils concernés ne puissent pas être mis en marche au cours du processus de programmation, faute de quoi il y aurait risque d'effacement des bandes enregistrées et le son pourrait brusquement être émis par les enceintes acoustiques à un volume assourdissant.

Pour éviter ceci, il suffit de débrancher le cordon d'alimentation secteur de chacun des appareils ou bien de masquer leurs cellules captrices de télécommande.

A noter que les rayons infra-rouges peuvent être réfléchis par les murs ou le plafond et mettre des appareils en marche accidentellement.

Touches préselectionnables

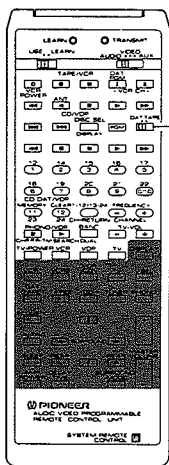
Lorsque le sélecteur de mode d'émission se trouve sur l'une des position AUDIO ou VIDEO (TRANSMIT), toutes les touches peuvent être programmées, à l'exception de celles d'amplificateur. Sur la position AUX, la programmation de toutes les touches est possible sans exception.


Les commandes présélectionnées sont modifiables.

La présélection a été déterminée en usine pour les codes de télécommande Pioneer, ceci au niveau des positions AUDIO et VIDEO. Il est donc inutile de les programmer si ce module doit être employé à la télécommande d'appareils de marque Pioneer. Il convient par contre d'exécuter une programmation pour obtenir d'autres modes de présélection que ceux prévus d'origine. D'autre part, la programmation Pioneer d'origine peut être rétablie même après avoir été remplacée par d'autres codes. Pour cette opération, consulter le chapitre "Rétablissement de la programmation d'originekanma".

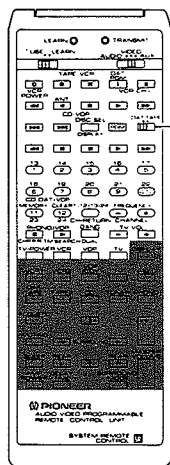
- Une fonction déterminée peut être assignée à chacune des touches mentionnées, permettant ainsi un total de 154 fonctions.
- Avant de commencer la programmation, vérifier si les piles du module de télécommande et éventuellement celles des autres dispositifs ainsi alimentés sont bien chargées.
- Avec certains appareils télécommandés par infra-rouges, la programmation du module de télécommande peut être impossible.

Mode AUDIO



En mode AUDIO, les touches de commande de magnétophone (TAPE) sont indifféremment programmables sur les positions DAT (magnétocassette numérique) ou TAPE (magnétophone analogique).  reste initialement sur l'autre position (43 touches programmables).

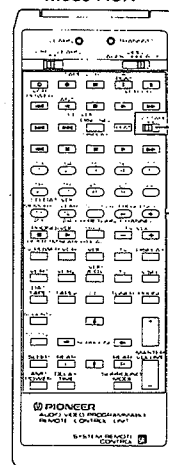
Mode VIDEO



Le sélecteur DAT/TAPE n'est pas opérationnel en mode VIDEO (43 touches programmables).

Lors de l'enseignement de fonctions dont les noms diffèrent de deux des touches, noter les noms ou les codes des fonctions sur les gabarits fournis et les placer sur le panneau.

Mode AUX



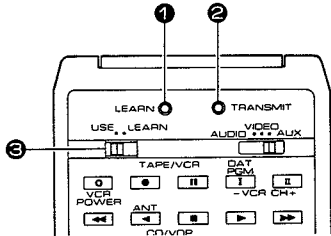
Chacune des 68 touches est programmable.

Le sélecteur DAT/TAPE 1 n'est pas opérationnel en mode AUX.

PROGRAMMATION DE CODES ETRANGERS

Programmation de reproduction de vidéocassette

- Il est préférable que la désignation de la touche et la fonction lui étant affectée correspondent afin de faciliter l'emploi.



① Témoin de programmation (LEARN) :

Ce témoin visualise le mode de fonctionnement du module de télécommande.

Eclairage continu :

Programmation possible

Extinction :

Fonctions normales de télécommande opérationnelles.

Clignotement :

Tentative de programmation d'une touche improgrammable.

② Témoin d'émission (TRANSMIT)

Ce témoin clignote lorsque les signaux de télécommande sont émis.

③ Sélecteur de programmation (LEARN) :

Fonction des deux positions.

Programmation (LEARN) :

Amener sur cette position pour exécuter la programmation du module de télécommande. Consulter le chapitre "Exploitation de la programmation" pour de plus amples détails.

Exploitation (USE) :

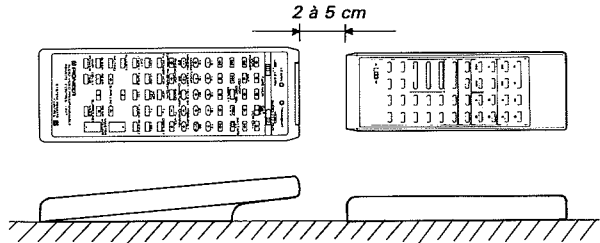
Amener sur cette position après avoir exécuté la programmation (position LEARN) afin de faire usage des fonctions télécommandées.

[Exemple de programmation]

1. Amener le sélecteur de programmation (LEARN) sur la position LEARN (programmation) et celui de mode d'émission (TRANSMIT) sur la position VIDEO.

- Pour la programmation, le sélecteur de mode d'émission (TRANSMIT) peut en fait se trouver sur n'importe quelle position. L'emploi de la position VIDEO indiqué ici n'est qu'un cas de figure.

2. Présenter le module de télécommande en face de la cellule captrice du magnétoscope.



- Poser les deux appareils (télécommande et magnétoscope) sur une table en les écartant de 2 à 5 cm.
La mémorisation est impossible s'ils sont trop proches l'un de l'autre.

3. Exercer une pression continue sur la touche de reproduction de vidéocassette (PLAY) jusqu'à ce que le témoin de programmation (LEARN) s'allume.
4. Exercer une pression continue sur la touche de reproduction (PLAY).
5. Relâcher la touche de reproduction du magnétoscope une fois que le témoin de programmation (LEARN) de la télécommande s'éteint.

NOTE :

Si le témoin de programmation clignote, c'est que la touche utilisée n'est en réalité pas programmable ou encore que la capacité interne de programmation a été dépassée, auquel cas la dernière programmation introduite n'est pas mémorisée. Les programmation composées antérieurement restent cependant dans la mémoire et peuvent être exploitées telles quelles. En ce qui concerne les modifications de programmations, se reporter à la page 32 "Rétablissement de la programmation d'origine". Si le témoin clignote et que la fonction assignée à la dernière touche programmée n'est pas essentielle, les touches précédentes peuvent être utilisées telles qu'elles ont été programmées.

6. Amener le sélecteur de programmation (LEARN) du module de télécommande sur la position USE ((exploitation).

- Le codage précédent (codage Pioneer uniforme ou codage d'équipement de marque différente) est effacé et remplacé par les nouveaux paramètres.

7. Vérifier le bon fonctionnement du programme

- Essayer les commandes programmées afin de vérifier si tout fonctionne normalement.
- Recommencer la programmation des touches éventuellement inopérantes à partir du début en modifiant la distance séparant le module de télécommande de l'appareil concerné ainsi que l'angle d'attaque entre le module et la cellule captrice.
- Lors de la programmation, vérifier si les indications de fonction (▶, ►►, ■) sont bien les mêmes sur le module de télécommande et l'appareil à télécommander. Les opérations sont en effet plus faciles à exécuter si toutes les indications sont identiques.

PROGRAMMATION DE CODES ETRANGERS

Questions et réponses au sujet de la programmation

Q : Quelle est la méthode de programmation pour un magnétope possédant deux touches d'enregistrement (REC), les deux touches devant être actionnées simultanément pour lancer l'enregistrement ?

R : Programmer en appuyant sur l'une quelconque des touches du module de télécommande (par exemple la touche VCR ●), jusqu'à l'allumage du témoin de programmation (LEARN) et appuyer simultanément sur les deux touches du magnétope commandant l'enregistrement.

Q : Quelle est la méthode de programmation pour un magnétope au niveau duquel les touches d'enregistrement (REC) et de reproduction (PLAY) doivent être actionnées simultanément pour lancer l'enregistrement ?

R : Programmer en appuyant sur l'une quelconque des touches du module de télécommande (par exemple la touche VCR ●), jusqu'à l'allumage du témoin de programmation (LEARN) et appuyer simultanément sur les touches d'enregistrement (REC) et de reproduction (PLAY) du magnétope.

- Comme cela est mentionné ci-dessus, les fonctions commandées par pression simultanée sur deux touches se programment en appuyant simultanément sur les deux touches en question.

Télécommande d'autres appareils

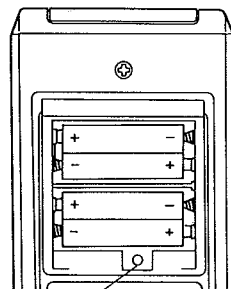
1. Amener le sélecteur de programmation (LEARN) sur la position USE (exploitation).
2. Amener le sélecteur de mode d'émission (TRANSMIT) sur la position souhaitée (AUDIO, VIDEO ou AUX).
 - Pour exécuter la programmation exposée en exemple, choisir la position VIDEO.
3. Appuyer sur la touche correspondant à la fonction à programmer.
 - Le témoin d'émission (TRANSMIT) s'allume sans discontinuer aussi longtemps que le module de télécommande émet les codes.

NOTE :

- Pour télécommander un appareil dont les codes de télécommande ont été programmés le sélecteur de programmation (LEARN) doit absolument se trouver sur la position USE (exploitation).
- Le fonctionnement risque d'être imparfait ou la méthode différente pour les fonctions au niveau desquelles deux touches doivent être actionnées simultanément (enregistrement etc.) ou de celles émettant plusieurs codes simultanément (fonctions automatiques, programmation de chronorupteur etc.)

Rétablissement de la programmation d'origine

1. Amener le sélecteur de programmation (LEARN) sur la position LEARN.
2. Déposer la trappe du compartiment à piles.
 - Pour le mode de dépose de cette trappe, consulter le paragraphe "Mise en place des piles".
3. Appuyer sur l'une des touches de programmation. Le témoin de programmation (LEARN) s'allume.
4. Appuyer sur le bouton de réenclenchement (RESET) à l'aide de la pointe d'un stylo bille ou autre instrument pointu pendant que le témoin de programmation (LEARN) clignote.
 - Les fonctions affectées aux positions AUDIO, VIDEO et AUX sont effacées et le module de télécommande revient aux codes de télécommande Pioneer uniformisés.
 - Ne pas forcer sur les touches



Touche de réenclenchement

FICHE TECHNIQUE

Principe : Télécommande programmable à infra-rouges

Alimentation : Quatre piles alcalines LRO3/AM-4

Accessoires : Quatre piles, mode d'emploi, bon de garantie et 2 gabarits en plus

Encombrement : 73 mm (l) x 28 mm (H) x 205 mm (P)

Poids : 210 g piles comprises

パイオニア株式会社 153 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

PIONEER ELECTRONIC CORPORATION 4-1, Meguro 1-Chome, Meguro-ku, Tokyo 153, Japan

PIONEER ELECTRONICS [USA] INC. 2265 East 220th Street Long Beach, California 90810 U.S.A.

P.O. BOX 1720 Long Beach, California 90801-1720 U.S.A.

PIONEER ELECTRONICS OF CANADA, INC. 505 Cochrane Drive, Markham, Ontario L3R 8E3 Canada